

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

＜第34週＞A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

＜腸管出血性大腸菌感染症＞第34週の報告数は190例であり、累積報告数は2,536例であった



病原体情報
P.9-12

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年／B群コクサッキーウイルス5型 2008年／咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2008年



速報
P.13-20

細菌性赤痢－2007年／修学旅行先において腸管出血性大腸菌O26に感染したと思われる事例－藤沢市



海外感染症情報

＜今週は該当記事はありません＞



感染症の話
P.21

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(34週)
P.22-27



34週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

※2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

<第34週コメント> 8月27日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核304例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: 埼玉県

細菌性赤痢14例

感染地域: 福岡県9例^{*}、宮城県1例、鹿児島県1例、カンボジア1例、バングラデシュ1例、インド1例

^{*}すべて、第30週の11例、第32週の1例、第33週の2例とともに同一飲食店関連の集団発生

腸管出血性大腸菌感染症190例(有症者137例、うちHUS 5例)

感染地域: 国内189例、兵庫県/アフガニスタン1例

国内の多い感染地域: 埼玉県19例¹⁾²⁾、東京都17例³⁾、愛知県10例、長崎県9例、北海道8例、石川県8例、福岡県8例、千葉県7例、兵庫県7例、岩手県6例、宮城県6例、岡山県6例⁴⁾

集団発生: グループホームに関連¹⁾うち6例

保育園に関連²⁾うち9例(第33週の3例とともに)、³⁾うち3例(第32週の13例、第33週の15例とともに)、⁴⁾うち1例(第32～33週の計5例とともに)

年齢群: 0歳(4例)、1歳(9例)、2歳(16例)、3歳(16例)、4歳(15例)、5歳(8例)、6歳(6例)、7歳(6例)、8歳(2例)、9歳(1例)、10代(29例)、20代(23例)、30代(11例)、40代(12例)、50代(8例)、60代(6例)、70代(10例)、80代(8例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(65例)、O157 VT2(56例)、O26 VT1(32例)、O103 VT1(6例)、O145 VT1(4例)、O157 VT1(3例)、O111 VT1(2例)、O121 VT2(2例)、O91 VT1(1例)、O115 VT1(1例)、その他・不明(18例)

累積報告数: 2,536例(有症者1,721例、うちHUS 41例、死亡2例)

感染地域: タイ

腸チフス1例

4類感染症

A型肝炎6例

感染地域: 北海道1例、島根県1例、熊本県1例、インド2例、パキスタン1例

デング熱3例

感染地域: インド3例

日本紅斑熱5例

感染地域: 千葉県3例、広島県1例、鹿児島県1例

ブルセラ症1例

感染地域: 愛知県

マラリア1例

三日熱__感染地域: コートジボワール/ブルキナファソ

レジオネラ症10例(肺炎型10例)

感染地域: 神奈川県2例(うち温泉1例)、山形県1例、茨城県1例、東京都1例、滋賀県1例、大阪府1例、広島県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例
年齢群: 30代(2例)、50代(2例)、70代(5例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢9例(腸管アメーバ症8例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 茨城県1例、石川県1例、愛知県1例、大阪府1例、福岡県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)2例、韓国/タイ1例

感染経路: 経口感染3例、性的接触2例(異性間1例、異性/同性間1例)、不明4例

ウイルス性肝炎2例 B型肝炎1例__感染経路: 性的接触(異性間)

C型肝炎1例__感染経路: 不明

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群: 1歳. 死亡

クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

年齢群: 60代(2例)

後天性免疫不全症候群14例(AIDS 3例、無症候11例)

感染地域: 国内13例、タイ/カンボジア1例

感染経路: 性的接触13例(異性間5例、同性間7例、異性/同性間1例)、不明1例

ジアルジア症1例 感染地域: 福岡県

梅毒4例(早期顕症1期1例、無症候3例)

破傷風2例 年齢群: 30代(1例)、60代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: *VanC* __菌検出検体: 血液

風しん2例(検査診断例2例)

感染地域: 神奈川県1例、大阪府1例

年齢群: 30～34歳(1例)、70代(1例)

麻しん26例〔麻しん(検査診断例9例、臨床診断例15例)、修飾麻しん(検査診断例2例)〕

感染地域: 国内26例

国内の多い感染地域: 神奈川県5例、東京都3例、千葉県2例、山梨県2例、静岡県2例、愛媛県2例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(4例)、2歳(1例)、3歳(1例)、5～9歳(1例)、10～14歳(3例)、15～19歳(7例)、20～24歳(1例)、25～29歳(1例)、30～34歳(2例)、35～39歳(3例)、40代(1例)

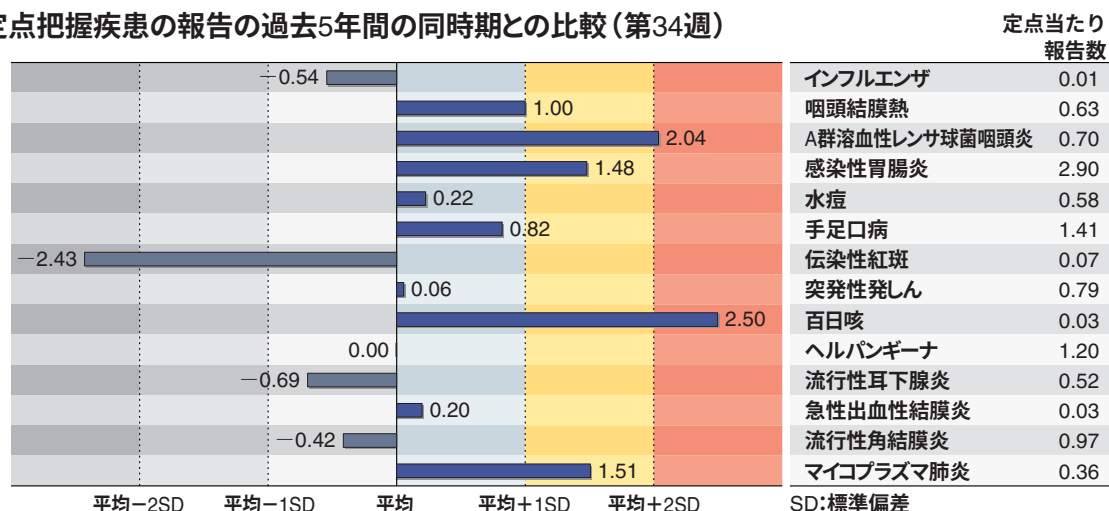
累積報告数: 10,677例〔麻しん(検査診断例3,059例、臨床診断例6,670例)、修飾麻しん(検査診断例948例)〕

(補)他に2008年第33週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: カンボジア/ベトナム2例)、エキノコックス症2例(多包条虫2例__感染地域: 北海道2例)、日本紅斑熱1例(感染地域: 三重県)、レジオネラ症1例〔感染地域: 富山県(温泉)〕、レプトスピラ症1例(感染地域: 沖縄県__感染原因: 水田)、急性脳炎3例〔ヒトヘルペスウイルス6型1例(0歳)、病原体不明2例(0歳1例、1歳1例)〕、クリプトスポリジウム症1例(感染地域: インドネシア)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(30代. 死亡)、先天性風しん症候群1例(感染地域: 神奈川県)、風しん3例〔検査診断例3例. 感染地域: 静岡県1例、兵庫県1例、国内(都道府県不明)1例. 年齢群: 8歳(1例)、25～29歳(1例)、60代(1例)〕などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第34週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(0.31)、福井県(0.09)、島根県(0.03)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は443例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では愛媛県(2.14)、宮崎県(2.00)、鹿児島県(1.91)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(1.95)、大分県(1.86)、鳥取県(1.53)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(8.4)、宮崎県(7.1)、福井県(5.9)が多い。

水痘の定点当たり報告数は25週以降減少が続いている。都道府県別では大分県(1.14)、新潟県(1.13)、山形県(1.03)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別では新潟県(6.9)、石川県(4.4)、熊本県(3.6)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(0.26)、島根県(0.26)、新潟県(0.22)、大分県(0.22)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(0.17)、三重県(0.09)、岡山県(0.09)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別では山形県(4.1)、新潟県(2.6)、長野県(2.6)が多い。

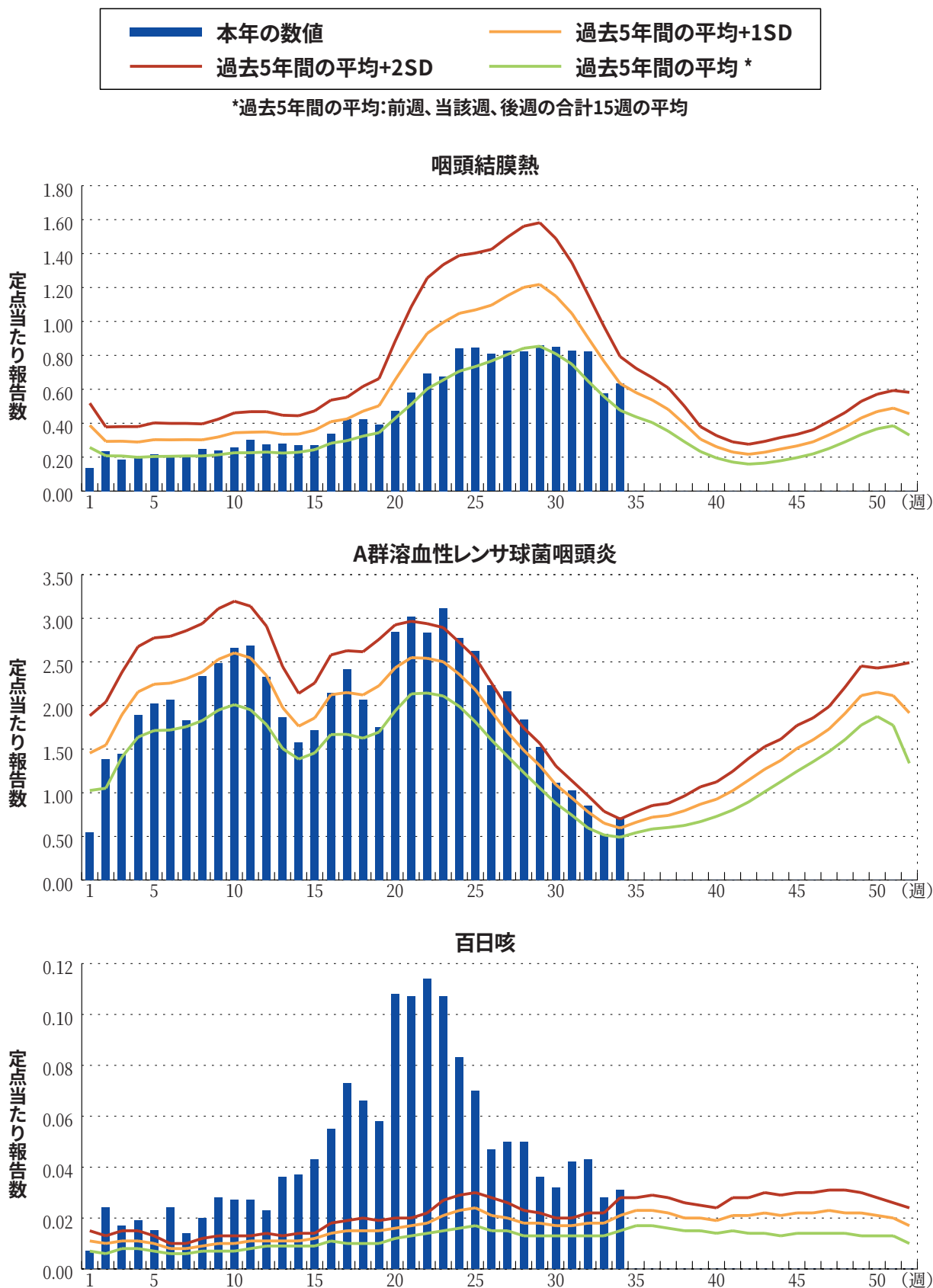
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では佐賀県(3.1)、宮崎県(2.6)、福井県(1.4)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較するとやや多い。都道府県別では沖縄県(2.86)、岡山県(2.00)、青森県(1.50)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1～34週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



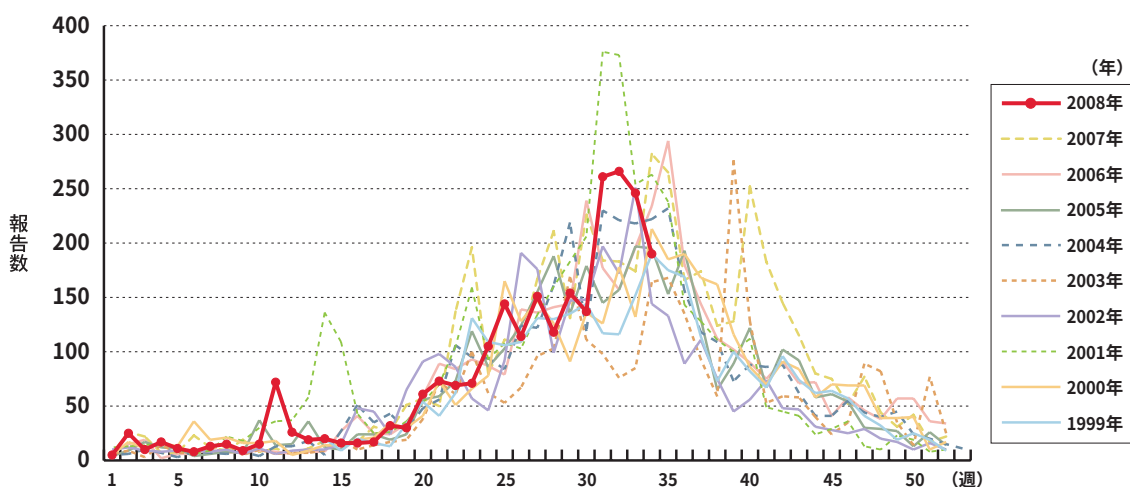


注目すべき感染症

◆腸管出血性大腸菌感染症 (2008年8月27日現在)

2008年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第11(～13)週に、オーストラリアへ修学旅行に行った高校生(76例)の集団発生があり一時的に増加した。その後、第18週から徐々に増加し始め、第24週に100例を超えた。第24～30週はほぼ100～150例で推移していたが、第31週に大きく増加し250例を超えた。第31週261例、第32週266例、第33週は246例で、第34週は190例であった。第34週までの累積報告数2,536例は、2000年以降では3番目に多い(2000年2,085例、2001年3,296例、2002年2,319例、2003年1,549例、2004年2,416例、2005年2,264例、2006年2,324例、2007年2,625例)(図)。

図. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年14週～2008年第34週)



第34週(8月18日～8月24日診断のもの)の報告190例は、患者(有症状者)が137例(72%)で、無症状病原体保有者53例(28%)であった。39都道府県から報告があり、都道府県別では、埼玉県(21例)、東京都(19例)、愛知県(11例)、兵庫県(10例)、千葉県(9例)、長崎県(9例)が多かった。感染地域は国内189例、国内またはアフガニスタン1例であった。国内の感染地域としての都道府県別では、埼玉県(19例)、東京都(17例)、愛知県(10例)、長崎県(9例)が多かった。埼玉県(第33週からの発生)、東京都(第32週からの発生)ではいずれも保育園に関連した集団発生があった。このほか、埼玉県ではグループホームにおける集団発生があった。性別では男性74例、女性116例で、年齢群別では0～9歳83例、10～19歳29例、20～29歳23例の順に多かった。

第1～34週(2007年12月31日～2008年8月24日診断のもの)の累積報告2,536例は、患者が1,721例(68%)、無症状病原体保有者が815例(32%)であった。報告はすべての都道府県からあり、報告の多い都道府県は、東京都(222例)、大阪府(149例)、福岡県(112例)、愛知県(110例)、神奈川県(106例)、兵庫県(99例)、長崎県(96例)、京都府(95例)、佐賀県(91例)であった。感染地域は国内が2,438例、国外が93例、国内か国外か不明が5例であり、国内の感染地域としての都道府県別では、東京都(175例)、大阪府(148例)、福岡県(101例)、愛知県(97例)、京都府(96例)、長崎県(95例)の順に多かった。性別では男性1,167例、女性1,369例であり、年齢群別では0～9歳889例(うち患者75%)、10～19歳420例(同79%)、20～29歳391例(同76%)、30～39歳263例(同45%)、40～49歳139例(同45%)、50～59歳182例(同48%)、60～69歳120例(同52%)、70～79歳71例(同70%)、80～89歳54例(同76%)、90～99歳7例(同71%)であった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は、前週の集計(8月20日)以降に新たに5例が報告され、第34週までに41例の報告となった。41例のうち12例は、菌は分離されなかったが、血清抗体の検出によって届け出られた。都道府県別では、25都道府県(東京都6例、大阪府5例、秋田県2例、山形県2例、群馬県2例、埼玉県2例、新潟県2例、岡山県2例、愛媛県2例、北海道、栃木県、千葉県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、和歌山県、徳島県、香川県、高知県、長崎県、鹿児島県、沖縄県各1例)から報告があった。年齢は0～4歳が21例、5～9歳が9例、10代が9例、50代が1例、80代が1例となっており、41例中36例が15歳未満の小児であった(表)。原因菌が分離された29例でみたO血清群・ベロ毒素(VT)型別では、O157 VT1・VT2 17例、O157 VT2 11例、O121 VT2 1例であり、また、血清抗体(O抗原凝集抗体)により診断されたもののO血清群はすべてO157であった。感染源としては、41例中、生肉・生レバー8例、生せんまい(牛の胃)1例、焼肉3例、ステーキ1例、バーベキュー1例などが挙げられていた。

死亡例は第34週までに2例が報告された。1例は基礎疾患に腎臓病を持った60代女性(O157 VT2)、もう一例はHUSを発症した80代の女性(O157 VT2)である。

**表. 腸管出血性大腸菌感染症の溶血性尿毒症症候群(HUS)
の年齢群別報告数(2008年第1～34週)**

	総届出数	患者	HUS	HUS/患者
0～4歳	566	417	21	5.04%
5～9歳	323	249	9	3.61%
10～14歳	189	159	6	3.77%
15歳以上	1,458	896	5	0.56%
総計	2,536	1,721	41	2.38%

腸管出血性大腸菌感染症は、わが国において、毎年約3,000～4,500例の報告が続いている疾患である。本年は、2000年以降の過去8年間の同時期までの発生数との比較では、3番目に多い報告数となっている。保育園に関連した集団発生が続いており、今週はグループホームでの集団発生もみられた。重症の合併症であるHUSは41例の報告となり、患者の2%以上、5歳未満に限れば5%以上に合併している。また、死亡例も2例報告されている。

例年の状況から、発生のピーク時期にあると考えられ、引き続き予防対策の徹底が求められる。食品の取り扱い等の一般的な食中毒対策に加え、特に、小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し生食は控えること、生肉などに使用した箸などにも注意することが肝要である。また、患者・無症状病原体保有者から周囲の人々への感染が起こりやすい疾患なので、手洗いの励行等の二次感染予防対策の一層の徹底が重要である。

(補)腸管出血性大腸菌感染症については、

□週報IDWR

- ・ 感染症の話: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_06/k02_06.html
- ・ 注目すべき感染症
 - 第25号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-25.pdf>
 - 第27号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-27.pdf>
 - 第29号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-29.pdf>
 - 第30号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-30.pdf>
 - 第31号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-31.pdf>
 - 第32号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-32.pdf>
 - 第33号: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-33.pdf>
- ・ 速報「修学旅行先において腸管出血性大腸菌(EHEC)O26に感染したと思われる事例—佐賀県」: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-20.pdf>
- ・ 速報「焼肉店が原因施設とされた腸管出血性大腸菌O157:H7食中毒事例—福井県」: <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-21.pdf>

□月報IASR

- ・ <特集>「腸管出血性大腸菌感染症 2008年4月現在」:
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/339/tpc339-j.html>

□菌の検出状況: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html>

などをご参照ください。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

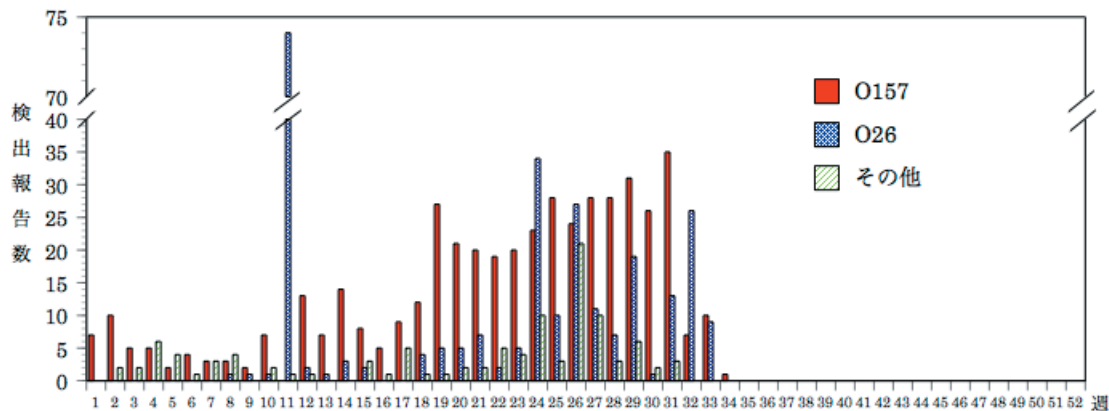
(2008年8月28日現在報告分)

◆ ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は843件で、O157が464件、O26が271件、その他の血清型が108件報告されている。O157は大阪府68件、群馬県、石川県、岐阜県各28件、滋賀県、福岡県各23件、静岡県21件、東京都、富山県各20件、奈良県19件、広島県16件、山形県、愛媛県各15件、山口県14件、千葉県13件、栃木県、新潟県、長野県、三重県各10件、大分県9件、佐賀県8件、福島県、埼玉県各7件、宮城県、熊本県各6件など35都道府県から報告されている。O26は佐賀県76件、東京都38件、富山県37件、神奈川県26件、新潟県13件、石川県12件、群馬県11件、静岡県10件、千葉県7件、宮城県6件など24都道府県から、その他の血清型は山形県21件、福岡県17件、千葉県15件、群馬県9件、石川県8件、東京都6件など23都道府県から報告されている。

直近の4週間に発生した集団事例では、第31週に新潟県の福祉・養護施設における集団発生からO26が7件、第32～33週に群馬県の焼肉店における集団発生からO157が7件が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報: 2008年8月28日現在報告数)

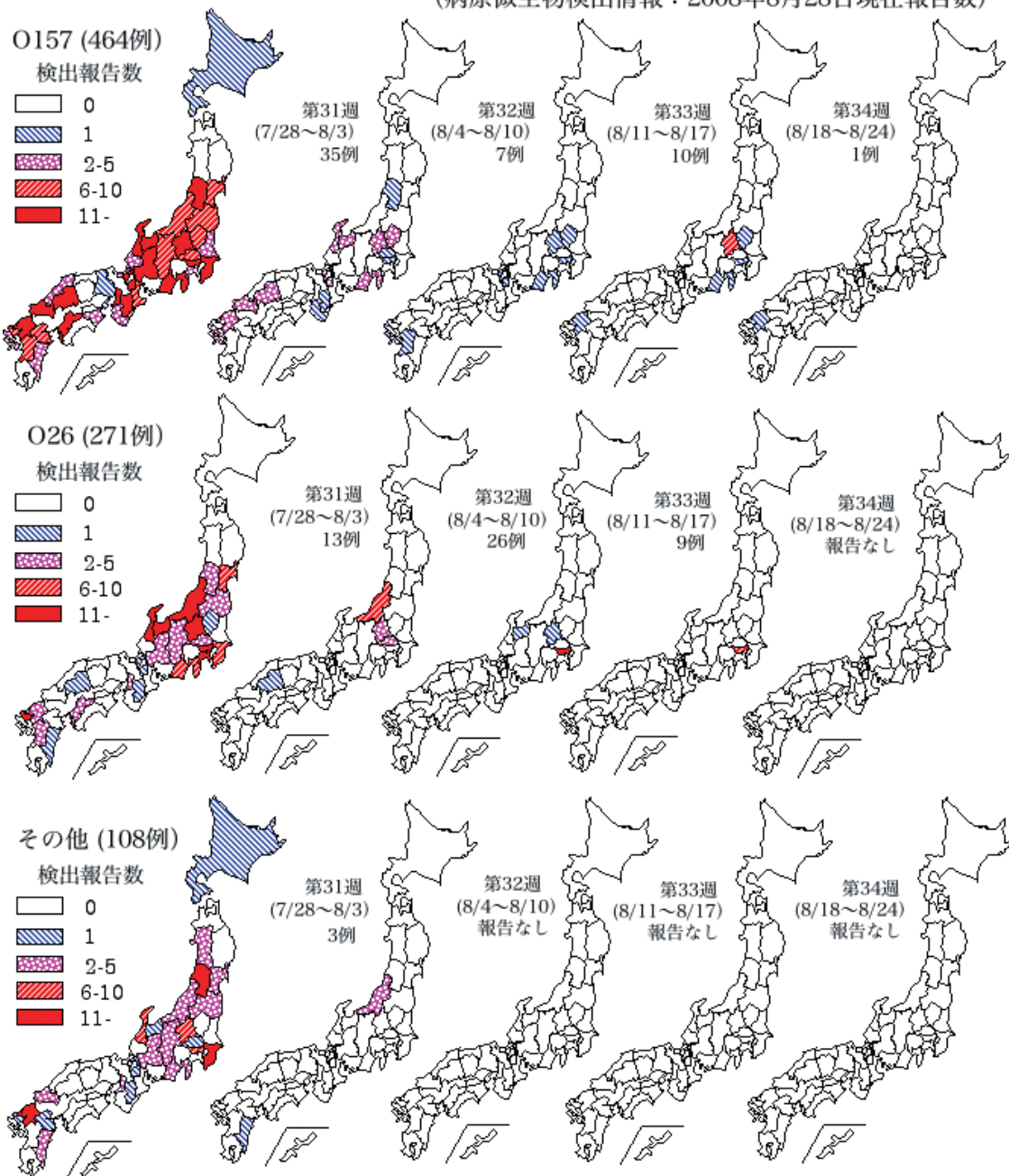


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年8月28日現在報告数)



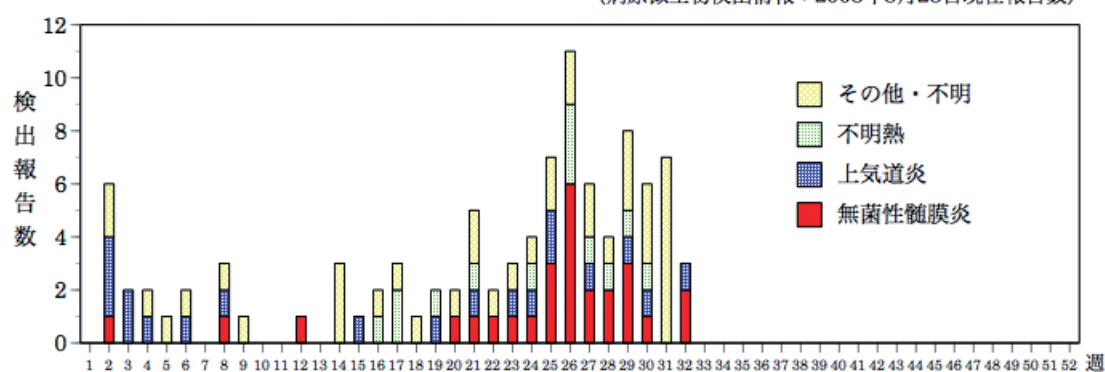
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

◆B群コクサッキーウイルス5型 2008年

B群コクサッキーウイルス(CB)5型の検出が増加しており、愛媛県、福岡県各17件、山形県15件、大阪府12件、兵庫県9件、京都府8件など、16都府県から計98件の検出が報告されている。CB5検出例の診断名は無菌性髄膜炎27件、上気道炎19件、不明熱13件、ヘルパンギーナ10件、感染性胃腸炎8件、インフルエンザ様・かぜ症候群6件、下気道炎3件、発疹症2件、その他・不明10件が報告されている。

週別Coxsackievirus B5分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年8月28日現在報告数)



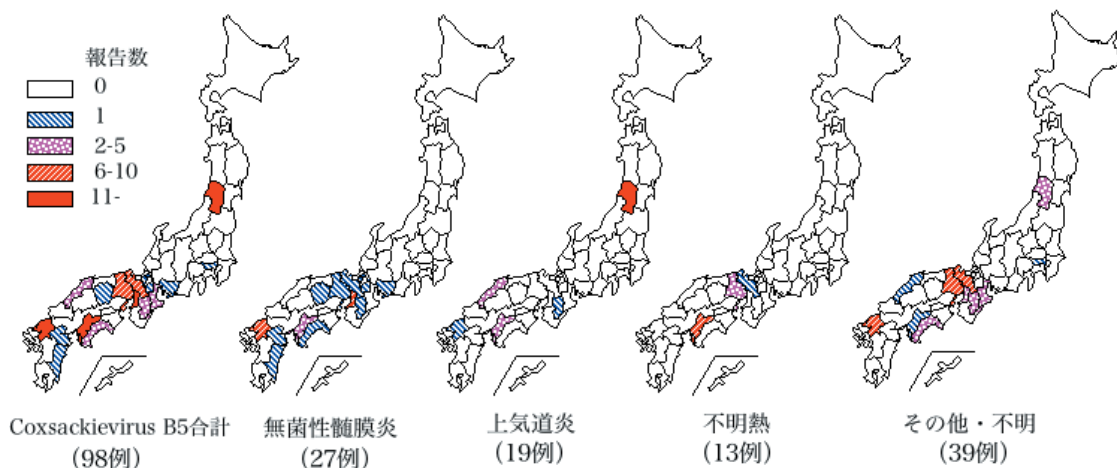
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Coxsackievirus B5分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年8月28日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

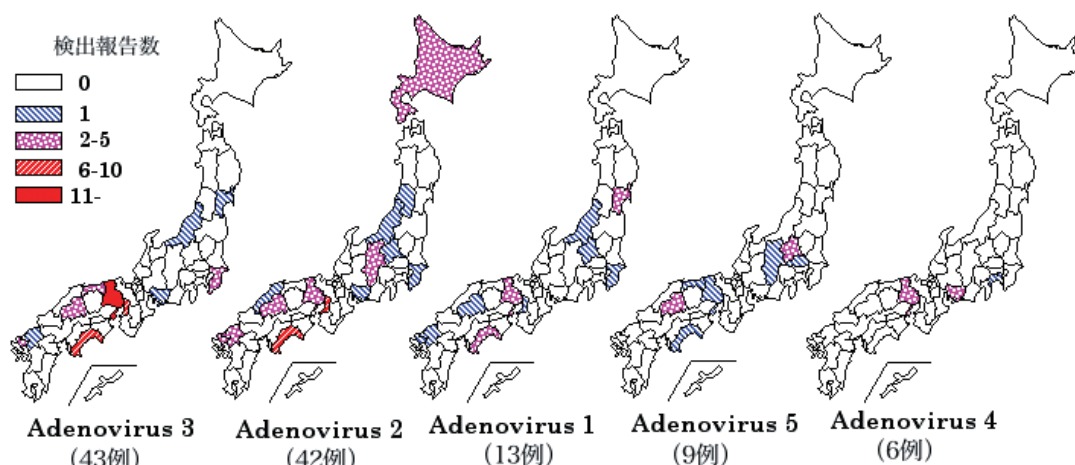
Infectious Agents Surveillance Report

◆咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2008年

2008年第1～32週までにアデノウイルス(Ad)3型が兵庫県11件、大阪府9件、高知県7件など11府県から43件、Ad2が大阪府、高知県各9件など14道府県から42件、Ad1が10府県から13件、Ad5が7県から9件、Ad4が3県から6件、Ad6が佐賀県から1件、型不明が高知県から1件の検出が報告されている。

都道府県別咽頭結膜熱患者からの主なアデノウイルス分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年8月28日現在報告数)



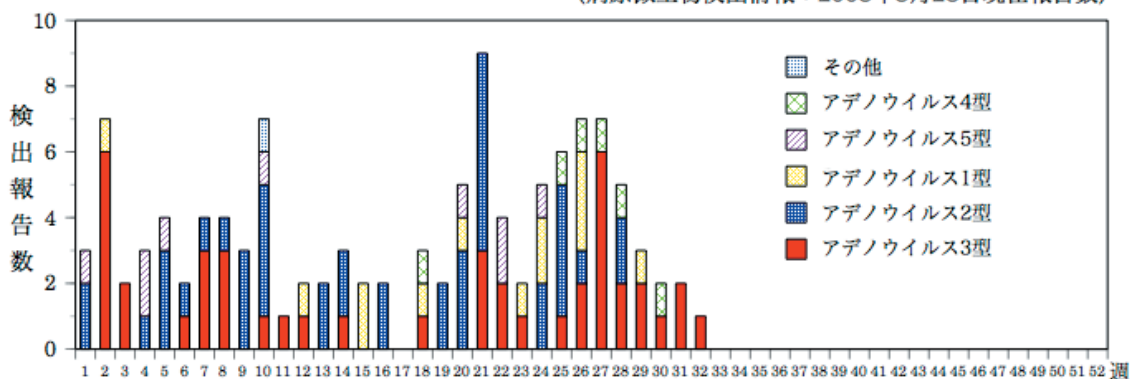
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年8月28日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆細菌性赤痢－2007年（2008年7月25日現在）

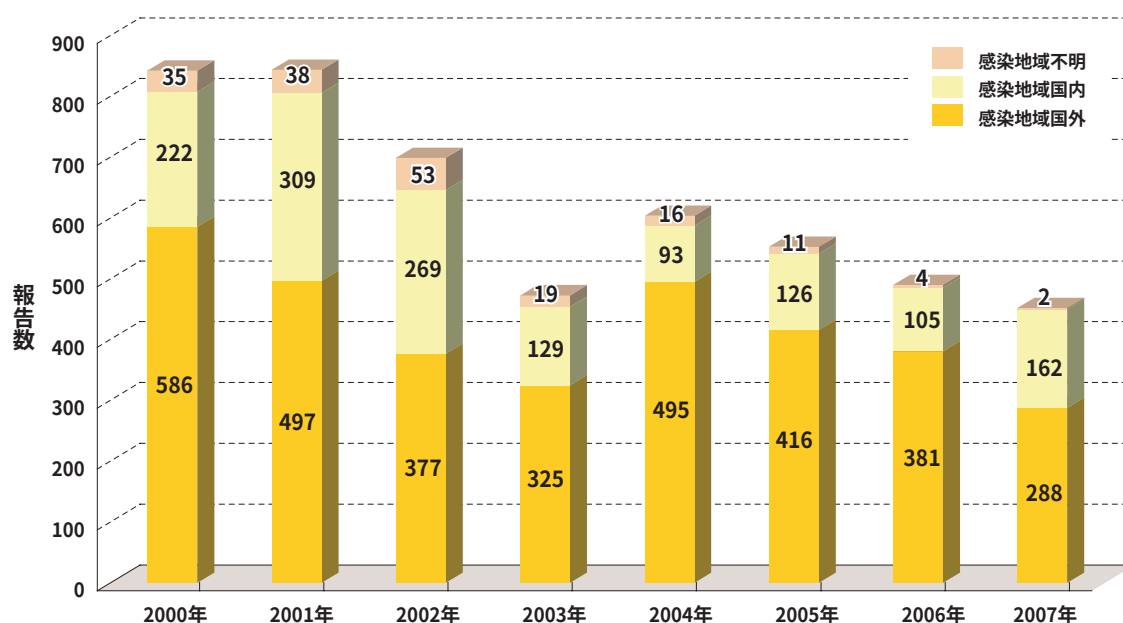
細菌性赤痢は通常1～3日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1～2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状が出現する腸管感染症である。原因菌はShigella属の4つの菌種(*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*)である。菌種は亜群とも呼ばれ、それぞれA群、B群、C群、D群に該当する。通常、*S. dysenteriae*、*S. flexneri* は典型的な赤痢症状を起こすことが多いが、*S. sonnei* では軽度の下痢、あるいは無症状で経過することが多いとされる。

細菌性赤痢は1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。2007年4月施行の法改正により、細菌性赤痢は3類感染症に変更され、患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)となった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見される。

感染症法のもとで届け出られた細菌性赤痢の過去の年間累積報告数は、2000年843例、2001年844例、2002年699例、2003年473例、2004年604例、2005年553例、2006年490例であり、2007年の報告数(2007年第1～52週に診断されたもの)は452例であった(図1)。それらのうち、患者(有症状者)は404例、無症状病原体保有者は46例であり、疑似症患者(3月までに届け出られたもの)は2例であった。

疑似症患者を除く450例は、性別では男性227例、女性223例で、年齢中央値は33歳(0～88歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内161例、国外287例、不明2例であった。死亡例の報告はなかった(但し、届出時点以降での死亡については届出義務はないので十分反映されていない可能性があり、届出時点以降での患者が死亡した場合の追加報告を届出医師や自治体に依頼している)。

図1. 細菌性赤痢の年別感染地域別発生状況



国内感染例：

国内を感染地域とする報告は161例であった(疑似症患者1例を除く)。28都道府県から報告があり、埼玉県(64例)、東京都(20例)、静岡県(15例)、神奈川県(9例)、広島県(8例)の順に多く、また、感染地域の都道府県としては、埼玉県(63例)、東京都(16例)、静岡県(15例)、広島県(8例)、千葉県(7例)の順であった。埼玉県で知的障害者施設〔55例(患者39例、無症状病原体保有者16例)〕、静岡県で保育園〔12例(患者10例、無症状病原体保有者2例)〕、広島県で保育園〔8例(患者5例、無症状病原体保有者3例)〕、東京都で大学の実習〔6例(すべて患者)〕における、またはそれに関連した二次感染を含む集団発生があった。

161例の性別は男性97例、女性64例で、年齢中央値は30歳(3～88歳)(男性のみ28歳、女性のみ32歳)であった。年齢群別では、10歳未満30例、10代17例、20代33例、30代26例、40代16例、50代16例、60代13例、70代8例、80代2例であり、20代、10歳未満、30代の順に多かった。20代には知的障害者施設及び大学実習、10歳未満には2件の保育園集団発生、また、30代には同じく知的障害者施設集団発生による報告が含まれている(図2)。

発症月は、集団発生の影響を受け4～7月が多いが、集団発生を除くと、5月(13例)、6月(10例)、11月(9例)、9月(8例)、10月(7例)の順であり、明らかな季節性は認められなかった(図3)。

検出された菌種は、*S. sonnei* 135例、*S. flexneri* 23例、*S. boydii* 2例、菌種同定不能1例であった(図4)。上述の4つの集団発生は全て *S. sonnei* によるものであった。

国外感染例：

国外を感染地域とする報告は287例であった(疑似症患者1例を除く)。感染地域別では、従来どおりアジアが231例(80.5%)と際立って多く、次いでアフリカ39例(13.6%)であった(図5)。国別では、アジア地域ではインドネシア、インド、中国、ベトナムの順に多いが、これに次いでアフリカのエジプトが多かった(表1)。報告数の多い感染地域や感染国の傾向は、従来とほぼ同様であった。

287例の性別は男性128例、女性159例で、年齢中央値は34歳(0～76歳)(男性のみ34歳、女性のみ33歳)であった。年齢群別では、10歳未満10例、10代15例、20代88例、30代77例、40代33例、50代32例、60代26例、70代6例であり、特に20代、30代が多い傾向は従来どおりであった(図2)。

発症月は、1月(40例)、3月(37例)、8月(29例)、9月(27例)が多く、長期休暇を反映していると考えられる(図3)。

検出された菌種は、*S. sonnei* 244例、*S. flexneri* 33例、*S. boydii* 5例、*S. dysenteriae* 3例、*S. flexneri* 及び *S. dysenteriae* 1例、菌種不明1例であった(図4)。日本を含む感染国毎の報告数を、菌種別に表に示した(表1)。

国外感染例の診断及び報告数の増減に関しては、海外での流行状況や流行地への渡航者数など様々な要因の関与が考えられるが、検疫法改正によりコレラが検疫感染症でなくなったことから、2007年6月以降は、検疫所で下痢などの申し出のあった者に対する検便が実施されなくなった。有症状者であっても、症状が軽いなど理由で入国後に医療機関を受診しない者もいることが予測されるので、この点も報告数減少に影響する一要因として考慮する必要があると考えられる。検疫所からの細菌性赤痢の届出は、前年の2006年4月～第52週は国外感染例として報告された282例中105例、2007年は同287例中81例(うち1～5月が71例)、また、2008年では第30週(～7月27日)までに国外感染例は103例の報告があるが、検疫所からの報告はなかった〔届出医療施設名が国まで報告されるようになったのは2006年4月以降〕。

図2. 細菌性赤痢の性別・年齢群別・感染地域別報告数(2007年)

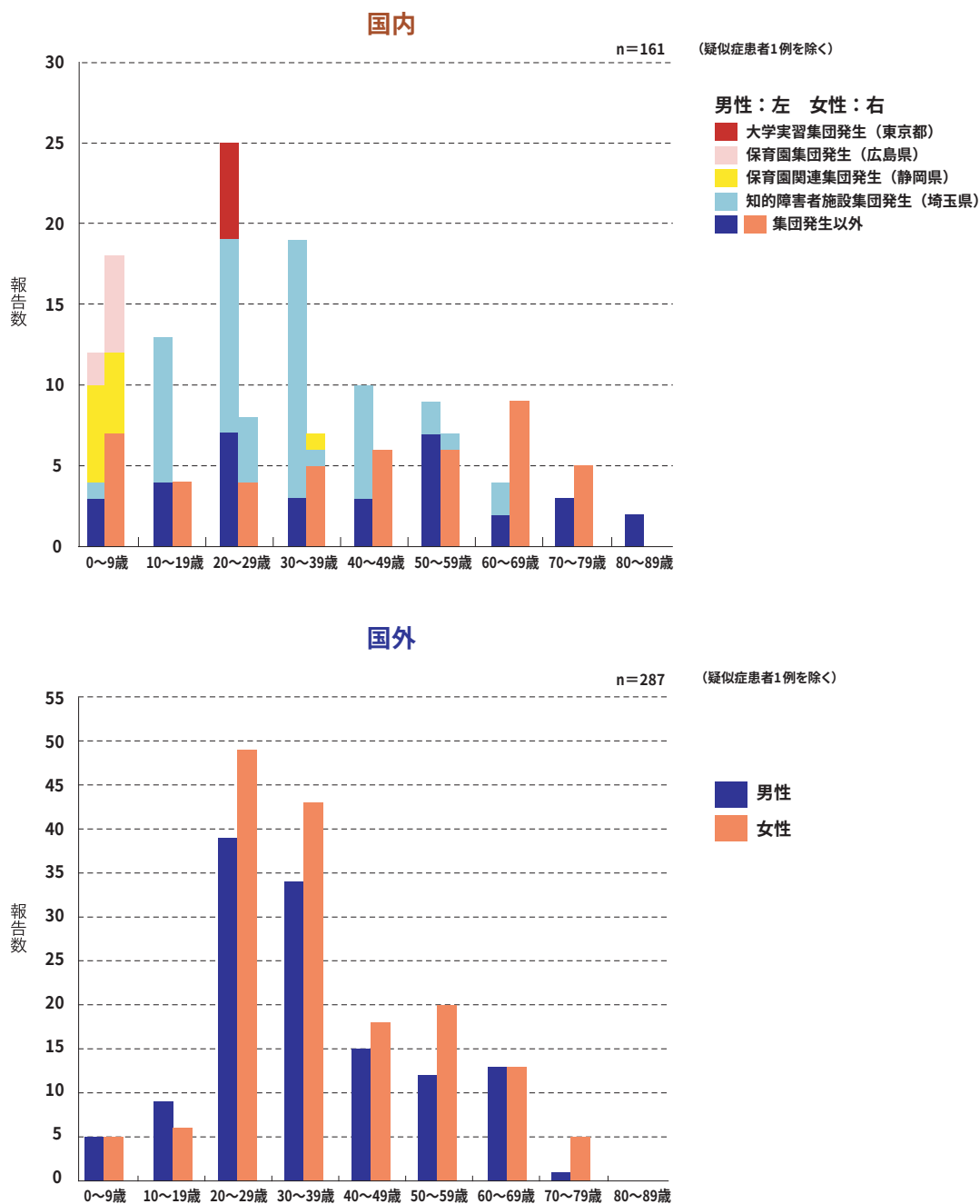


図3. 細菌性赤痢の感染症地域別・発症月別報告数(2007年)

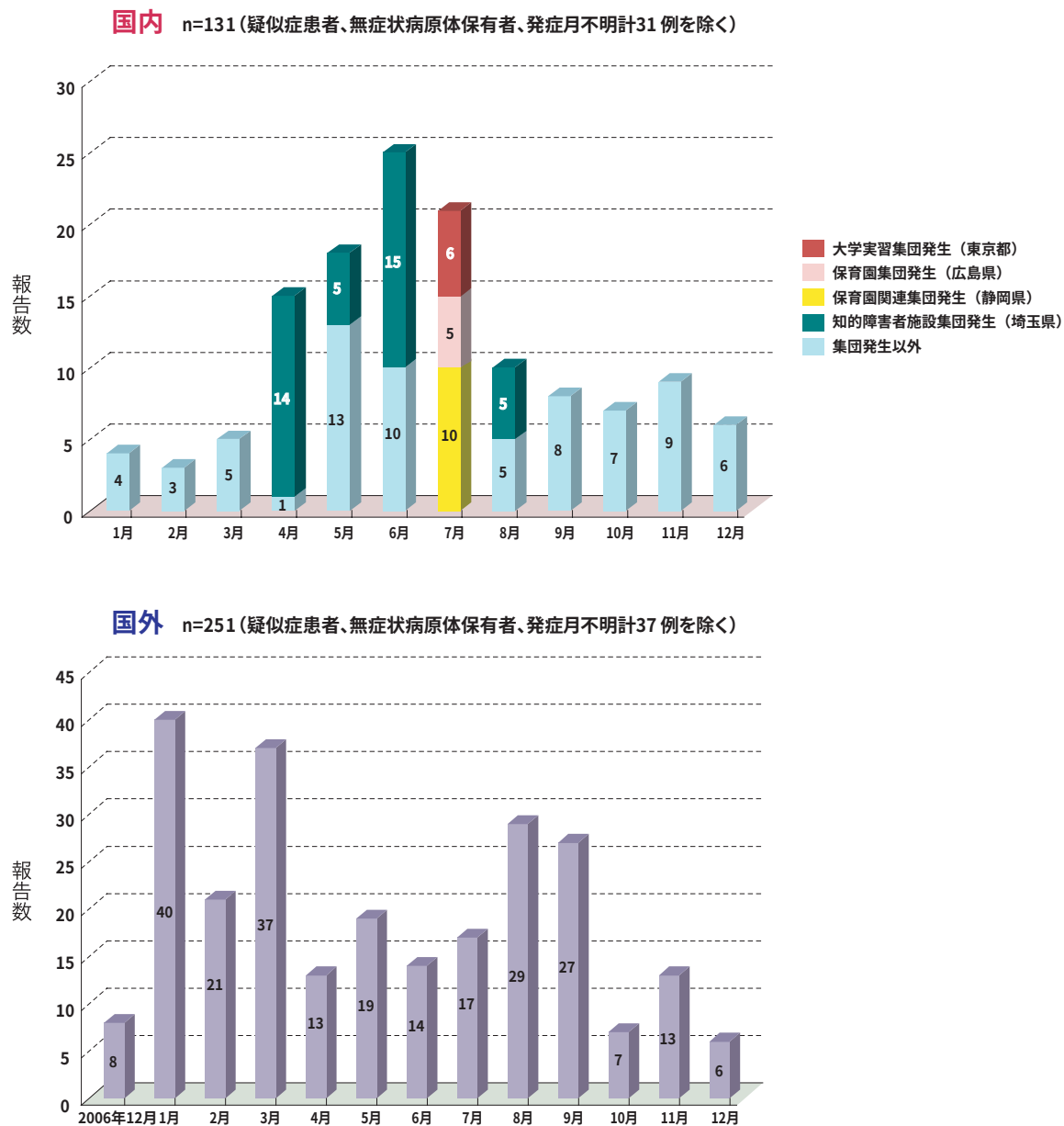


図4. 細菌性赤痢の感染地域別にみた菌種割合(2007年)

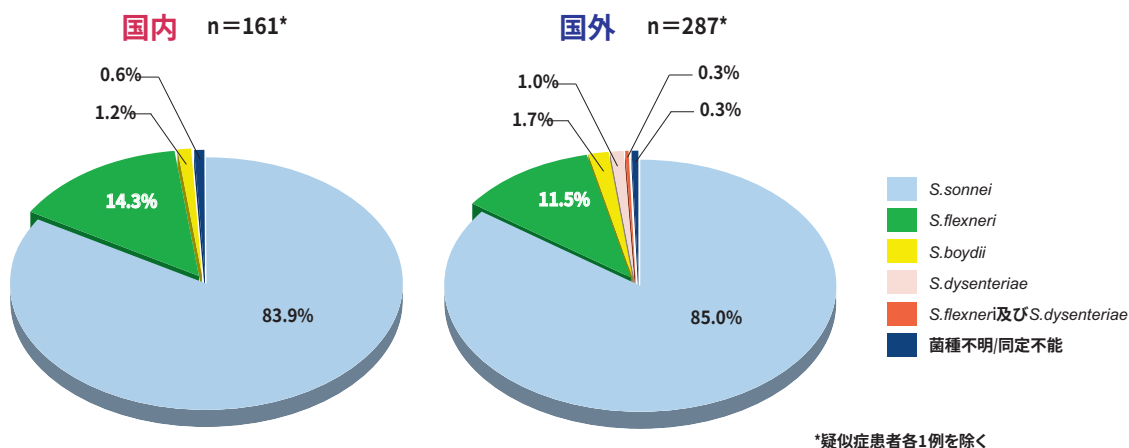


図5. 細菌性赤痢の国外感染例の感染地域分布(2007年)

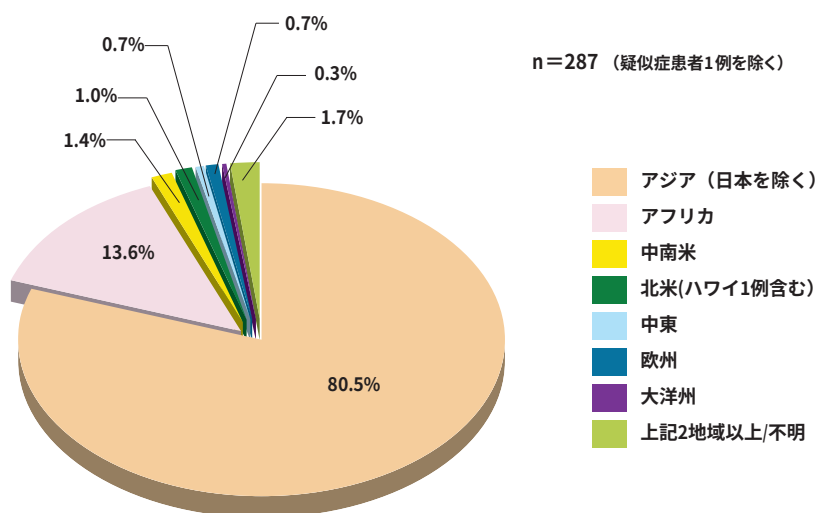


表1. 細菌性赤痢の感染地域・感染国別にみた菌種別報告数(2007年)

		n=450					
		<i>S. dysenteriae</i> n=3	<i>S. flexneri</i> n=56	<i>S. boydii</i> n=7	<i>S. sonnei</i> n=381	<i>S. dysenteriae</i> 及び <i>S. flexneri</i> n=1	菌種不明 /同定不能 n=2
国内		0	23	2	135	0	1
国外		3	33	5	244	1	1
アジア	アジア (日本を除く)	3	26	3	198	0	1
	インドネシア		2	1	53		
	インド	2	7(8)	1	39(42)		1
	中国		1		29		
	ベトナム		2		23(25)		
	フィリピン		8		8		
	タイ		0(1)		15(16)		
	カンボジア		2		9(12)		
	ネパール	1	1		3(5)		
	パキスタン		2	1	1		
	シンガポール		0(1)		3(5)		
	ミャンマー				2		
	モンゴル				2		
	スリランカ				1(2)		
	マレーシア				1		
	モルディブ				1		
	ラオス				0(2)		
	アジア計	0	5	1	32	1	0
アフリカ	エジプト		2		15	1	
	南アフリカ				7		
	エチオピア		1		2		
	セネガル				3		
	ケニア				2		
	モロッコ				2		
	アンゴラ				1		
	ブルキナファソ		1				
	マダガスカル			1			
	マラウイ		1				
	アフリカ計	0	0	0	4	0	0
中南米	ブラジル				1(2)		
	メキシコ				2		
	ペルー				0(1)		
北米	北米計	0	0	0	3	0	0
	米国 (ハワイ1例含む)				3		
中東	中東計	0	0	1	1	0	0
	シリア				1		
欧州	トルコ			1			
	欧州計	0	1	0	1	0	0
大洋州	アイルランド				1		
	ウズベキスタン		1				
その他 (上記2地域以上 および国不明)	大洋州計	0	0	0	1	0	0
	マーシャル諸島				1		
	その他計	0	1	0	4	0	0
	中国/ドイツ				2		
	米国/ペルー/キューバ				1		
国内外不明	エジプト/サウジアラビア				1		
	国不明		1				
国内外不明		0	0	0	2	0	0

* 国毎の集計において、() 外の数値はその国のみを感染地とする報告数、() 内の数値はその国のみとその国を含む複数国を感染地とする報告数の合計

* 疑似症患者2例を除く450例について表示

症状:

患者404例について、報告された症状をみた。届出票にあらかじめ記載されている症状では、下痢389例(96.3%)、発熱272例(67.3%)、腹痛191例(47.3%)、膿粘血便56例(13.9%)、しぶり腹48例(11.9%)であった(表2)。膿粘血便は、*S. flexneri*(30.2%)で *S. sonnei*(10.6%)に比して有意($p<0.001$)に高かった。また、*S. boydii* の症例数は7例と少ないが、しぶり腹のみられた頻度(57.1%)が、*S. flexneri*(11.3%)、*S. sonnei*(10.9%)に比して高い傾向にあった。また、その他の症状として自由記載されていたものでは、嘔気・嘔吐41例(10.1%)、頭痛29例(7.2%)が多かった。

一方、無症状病原体保有者46例の菌種は、*S. sonnei* 42例(同菌種総数381例の11%)、*S. flexneri* 3例(同56例の5.4%)、*S. dysenteriae* 1例(同3例の33.3%)であった。

表2. 細菌性赤痢の症状の菌種別報告数(2007年)

	<i>S. dysenteriae</i> n=2	<i>S. flexneri</i> n=53	<i>S. boydii</i> n=7	<i>S. sonnei</i> n=339	<i>S. dysenteriae</i> 及び <i>S. flexneri</i> n=1	菌種不明 /同定不能 n=2	総数 n=404
下痢	1	52	7	326	1	2	389
発熱	0	34	2	233	1	2	272
腹痛	0	28	4	156	1	2	191
膿粘血便	0	16	1	36	1	2	56
しぶり腹 (テネズムス)	0	6	4	37	0	1	48
嘔気・嘔吐	1	3	0	36	0	1	41
頭痛	0	1	0	28	0	0	29

複数回答あり

*疑似症患者2例および無症状病原体保有者46例を除く404例について表示

赤痢菌は腸管出血性大腸菌と同様に、微量の菌により感染が成立するため、感染が拡大しやすく、健康被害も生じやすい。特に小児や高齢者では重症化しやすいので注意が必要である。近年日本で発生している細菌性赤痢の大半は国外感染であり、国内感染についてはそれらの国外感染者からの二次感染や輸入食品の汚染による国内感染が推測されている。細菌性赤痢の感染予防策としては、十分な加熱調理や石鹸による手洗いの励行が基本である。渡航に際しては、渡航先の流行状況を把握すると共に、流行地へ渡航する場合には生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。さらに二次感染を防ぐためには、患者や無症状病原体保有者を早期に探知して治療し、排菌しなくなったことを確認する必要がある。

(補)細菌性赤痢のサルの報告

細菌性赤痢はサルの間にも感染がみられ、ヒトへの感染源となり得るため、2004年10月1日施行の感染症法施行令の改正により、細菌性赤痢のサルを診断した獣医師に届け出が義務づけられた。2004年には報告はなく、2005年に5都道府県から45例、2006年に6都道府県から45例、2007年には3都道府県から51例の報告(2008年5月17日現在)があった。報告されたサルのほとんどは輸入後の検疫(法定検疫または自主検疫)によって発見されたものである。

◆修学旅行先において腸管出血性大腸菌O26に感染したと思われる事例ー藤沢市

藤沢市内の高校において、修学旅行先の北海道にて腸管出血性大腸菌(EHEC)O26に感染したと思われる事例が発生したので、その概要を報告する。

2008年6月11日、川崎市から藤沢市保健所に対して、次のような情報提供があった。「川崎市内の医療機関より、腸管出血性大腸菌O26(Stx1)感染症の発生届が提出された。患者は川崎市内在住者であるが、藤沢市内の高校へ通学する高校生で、当該高校の北海道修学旅行(6月2～6日)参加中の発症(5日)であった。このため広域または集団感染の可能性も考えられるので、当該高校の調査が必要と思われる。」という内容であった。

藤沢市保健所において直ちに当該高校の調査を実施したところ、修学旅行に参加した3年生229名のうち73名に腹痛、下痢等の症状が出ていること、さらにこのうちの1名は横浜市内の医療機関でEHEC O26(Stx1)陽性であることが確認されていることが判明し、当該高校における本菌の集団感染の疑いが濃厚になった。

修学旅行の概要: 旅行期間は6月2日(月)～6日(金)の4泊5日で、3年生6クラス229名を2班に分け、1班は「釧路→知床→網走→富良野など」のルート、2班はこの逆ルートを回り、行程中の両班の合流はなかったが、4日(水)の昼食では時間をずらして同じ施設を利用していた。

症状等: 有症者は生徒73名(1班52名、2班21名)、発症期間は6月2～11日の間で、同行した教員に有症者はいなかった。主な症状は腹痛、下痢で比較的軽く、発熱を伴うものもいたが、重症者は見られなかった。

検査: 有症者73名中47名(1班36名、2班11名)について検便を行った結果、すべて1班の25名からEHEC O26(Stx1)が分離され、2班の有症者からは分離されなかった。分離株8株について実施したH型別ではいずれもH11であった。

検査は分離培養にDHL、CT-RMAC、RXO26寒天培地、増菌培地としてノボビオシン加mEC培地を使用した。各培地の培養温度、時間等は定法のとおり実施し、検査の精度向上のために増菌培養液を鋳型にしたリアルタイムPCR法の実施、当該PCR法でStx1遺伝子陽性になった培養液についてはO26ビーズ法も併用して行った。

分離されたEHEC O26(Stx1)25株中20株について、制限酵素XbaIを用いたパルスフィールド・ゲル電気泳動(PFGE)を行った結果、20株中18株は同一パターン、2株はバンド各々1本異なるだけの類似パターンを示し、これら分離株は同一汚染源に由来した可能性が示唆された。

まとめ: 当該高校の生徒が日常的に利用している学生食堂、売店等に、食中毒の疑いが持てるような苦情の申し出はなく、また、修学旅行前の当該クラス生徒の欠席状況は各日ごと0～3名で、クラス間の偏りも特に見られなかった。さらに、有症者についてEHEC O26(Stx1)の分離培養検査を実施した結果、1班の36名中25名(69%)が陽性であったが、2班の11名はすべて陰性で、2班の有症者の症状は本菌による感染以外の要因によると思われる。従って今回の事例は、当該高校3年生1班の修学旅行先で、何らかの同一感染源を原因として発生したことが強く疑われた。

藤沢市保健所

寺田直樹 佐藤 健 平井有紀 沖津忠行(衛生検査課)

小出元子 宮崎晃子 田渕 明 佐々木つぐ巳 田口良子(保健予防課)

国立感染症研究所

寺嶋 淳 伊豫田 淳 渡辺治雄

(IASR 2008年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



感染症の話

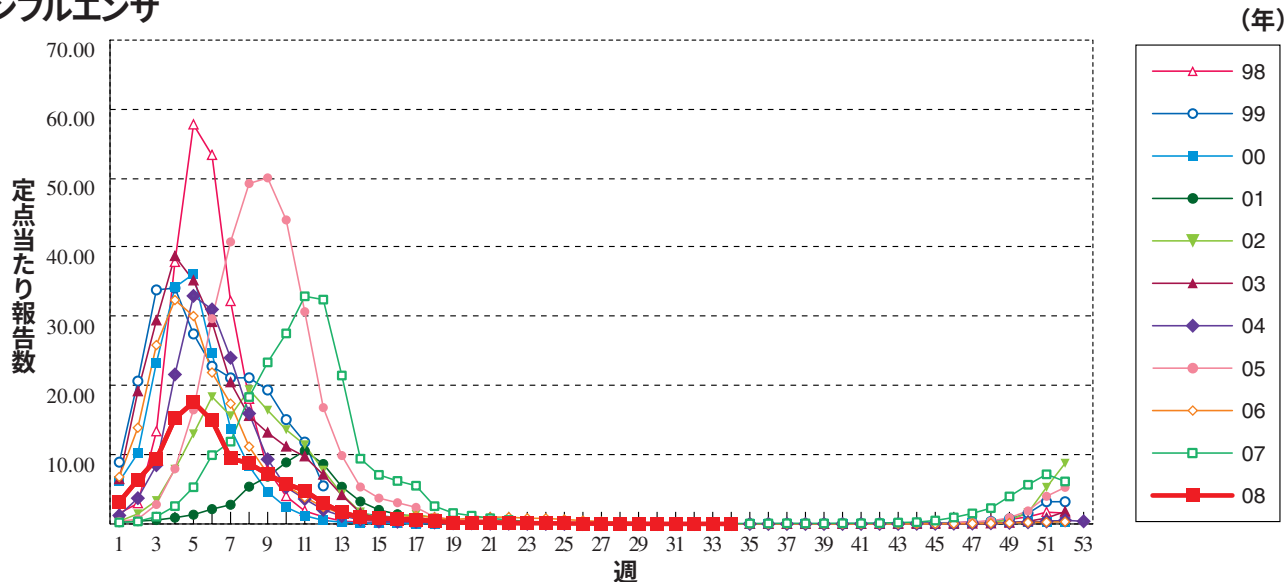
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

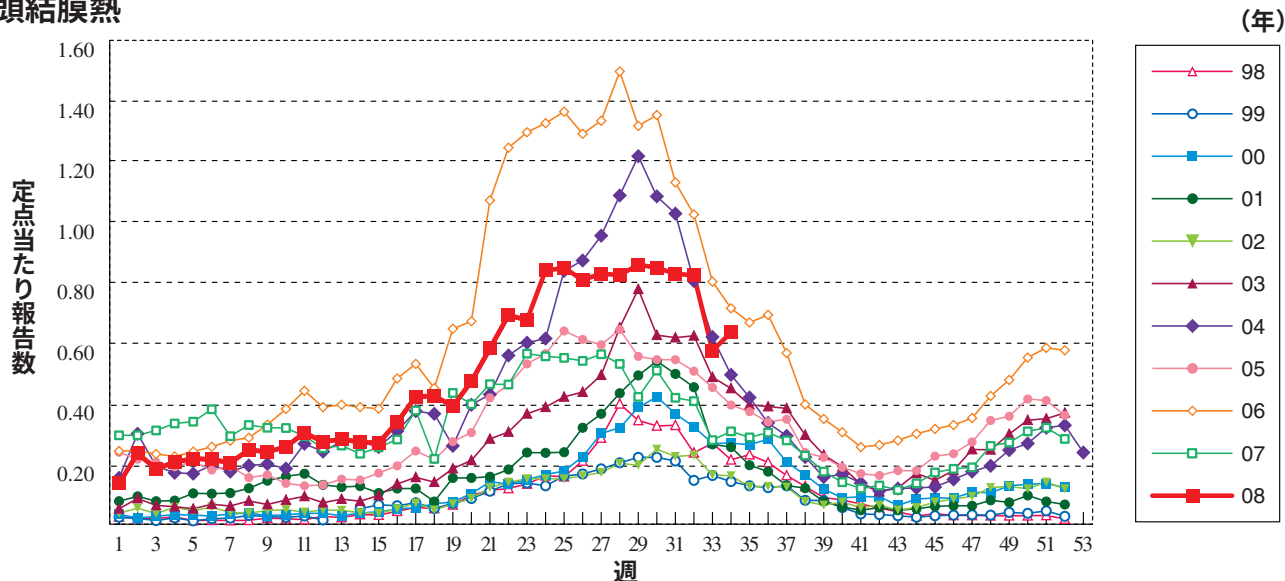


グラフ総覧(34週)

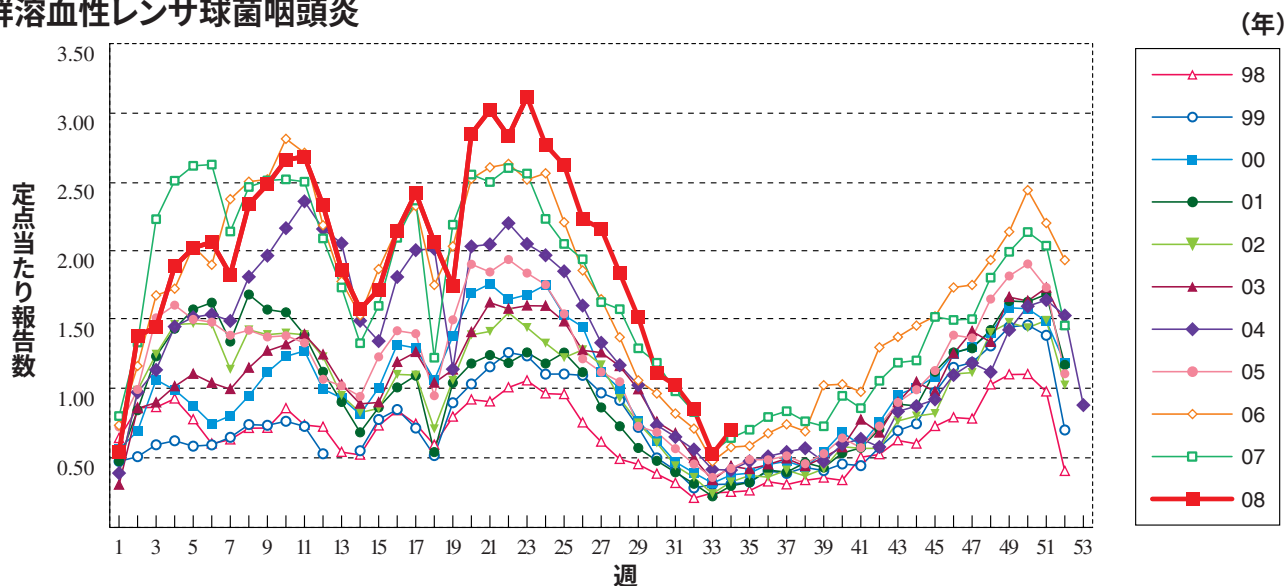
インフルエンザ



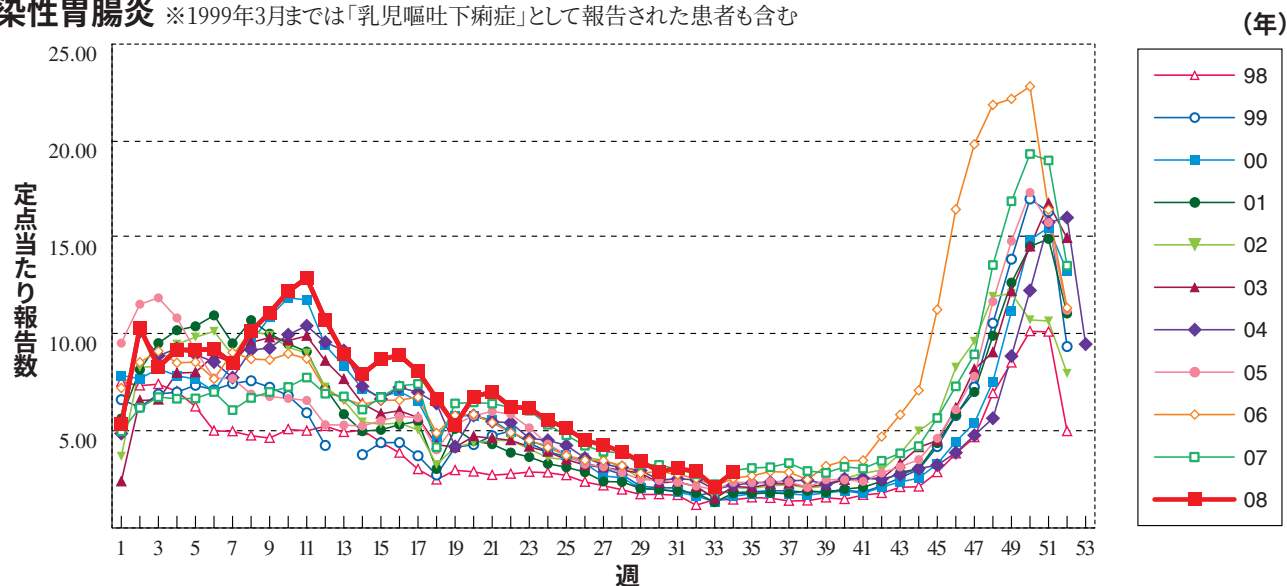
咽頭結膜熱



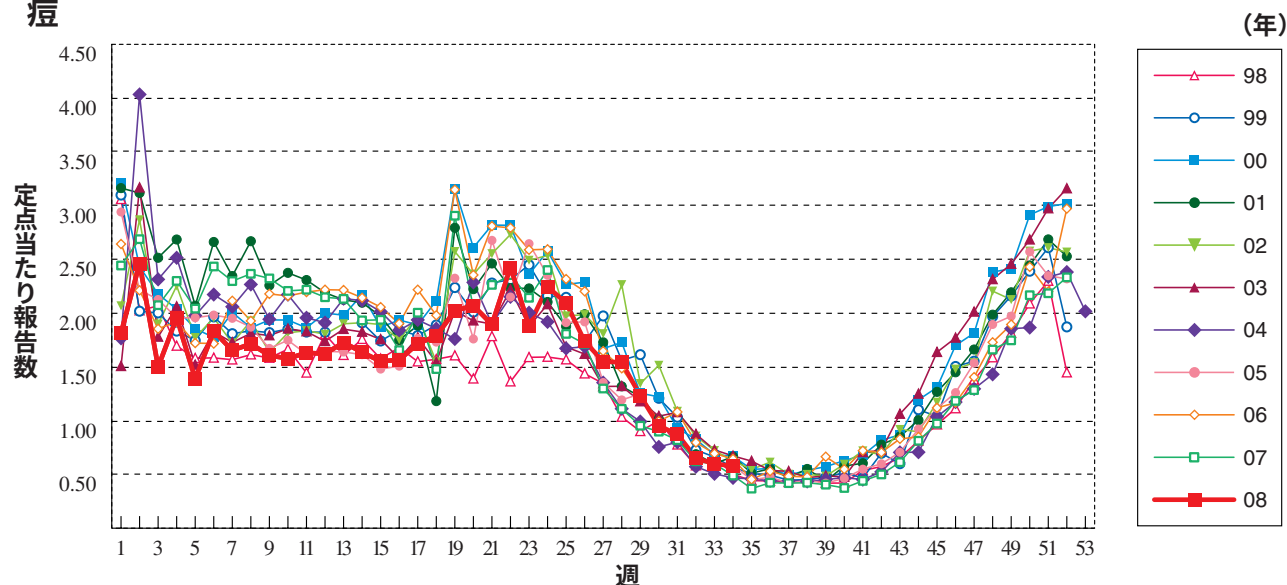
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



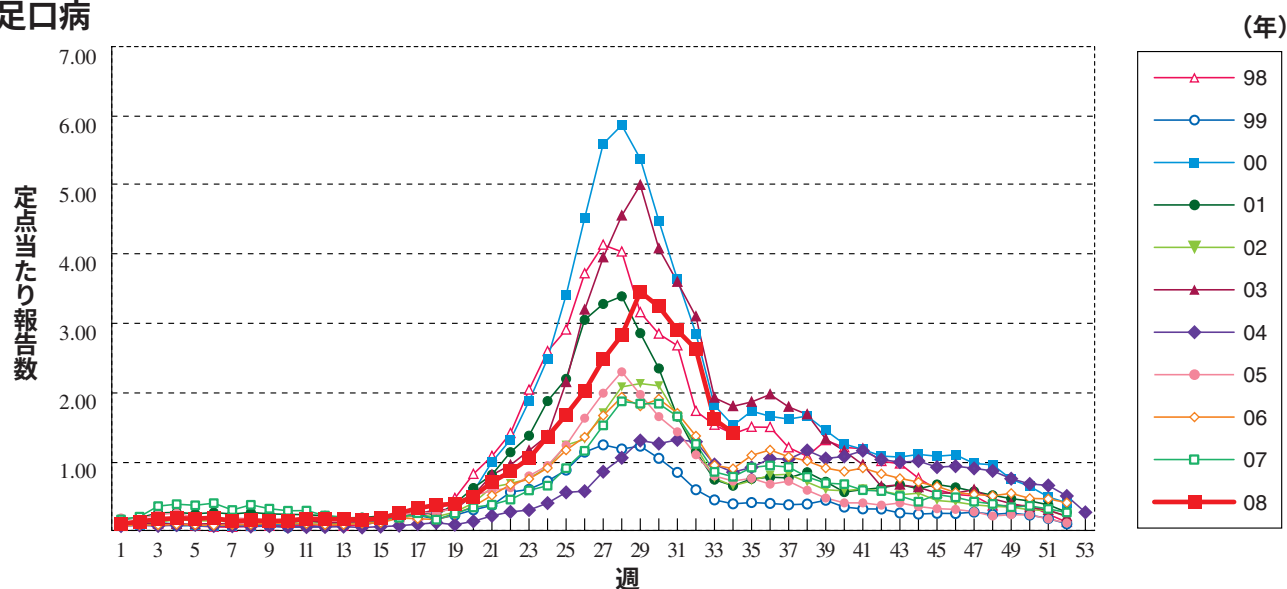
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



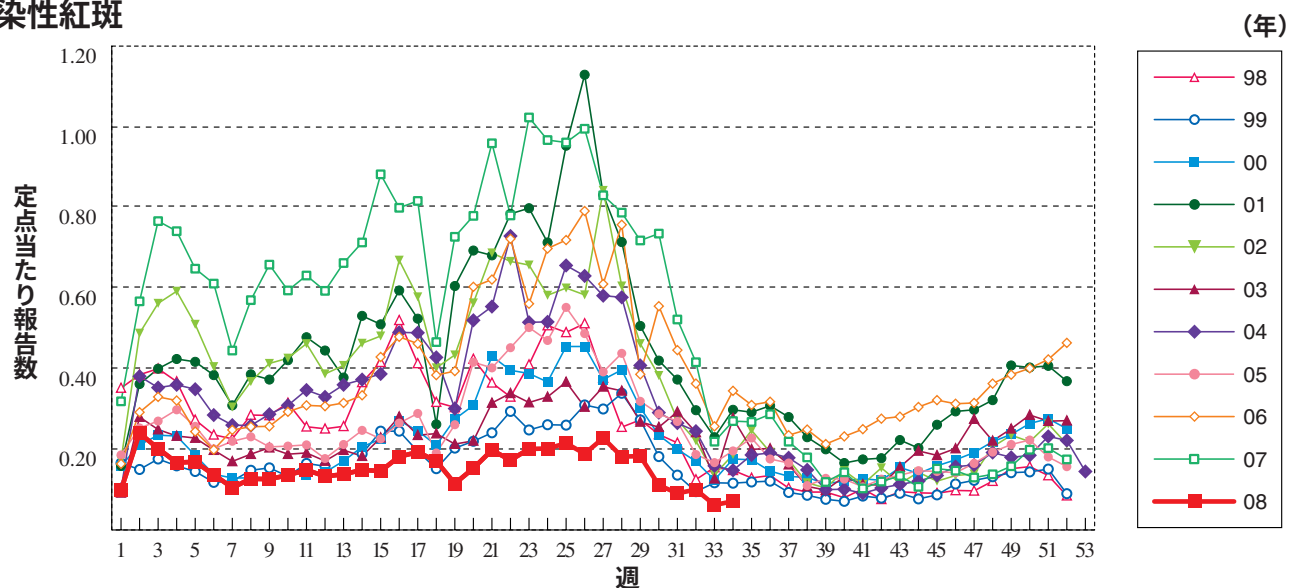
水痘



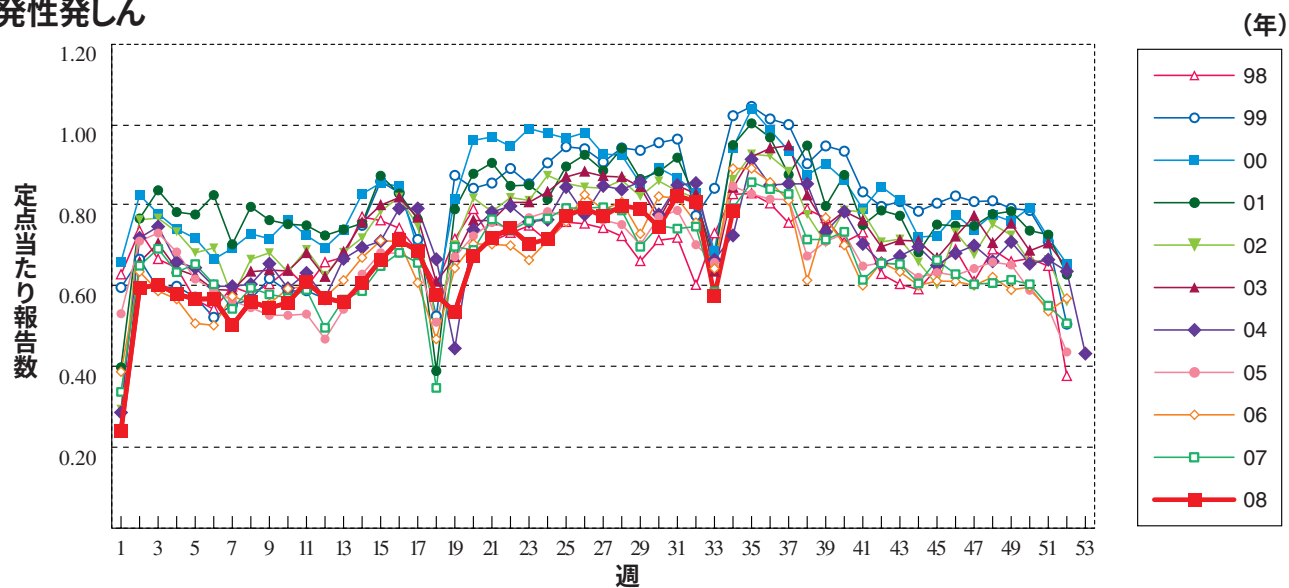
手足口病



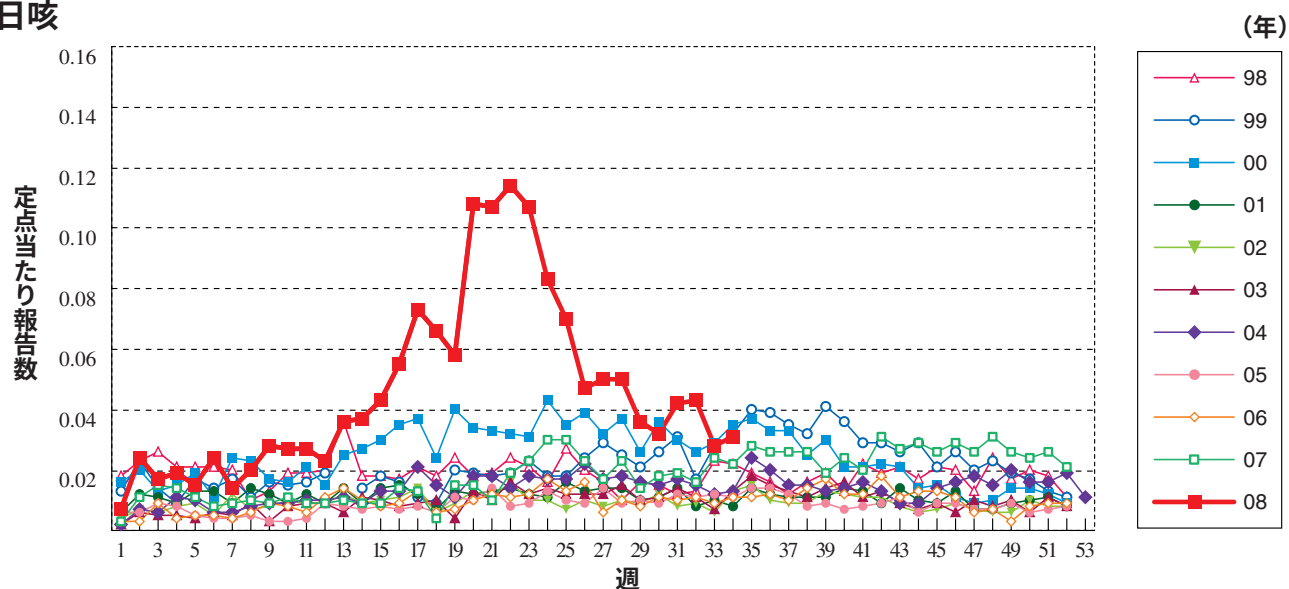
伝染性紅斑



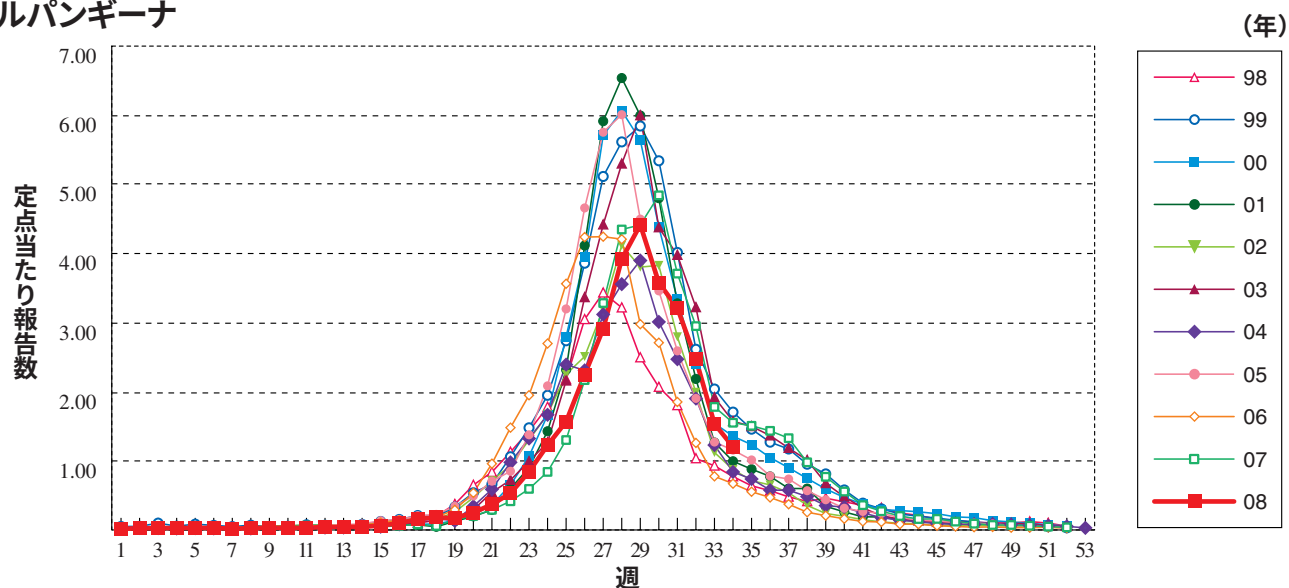
突発性発しん



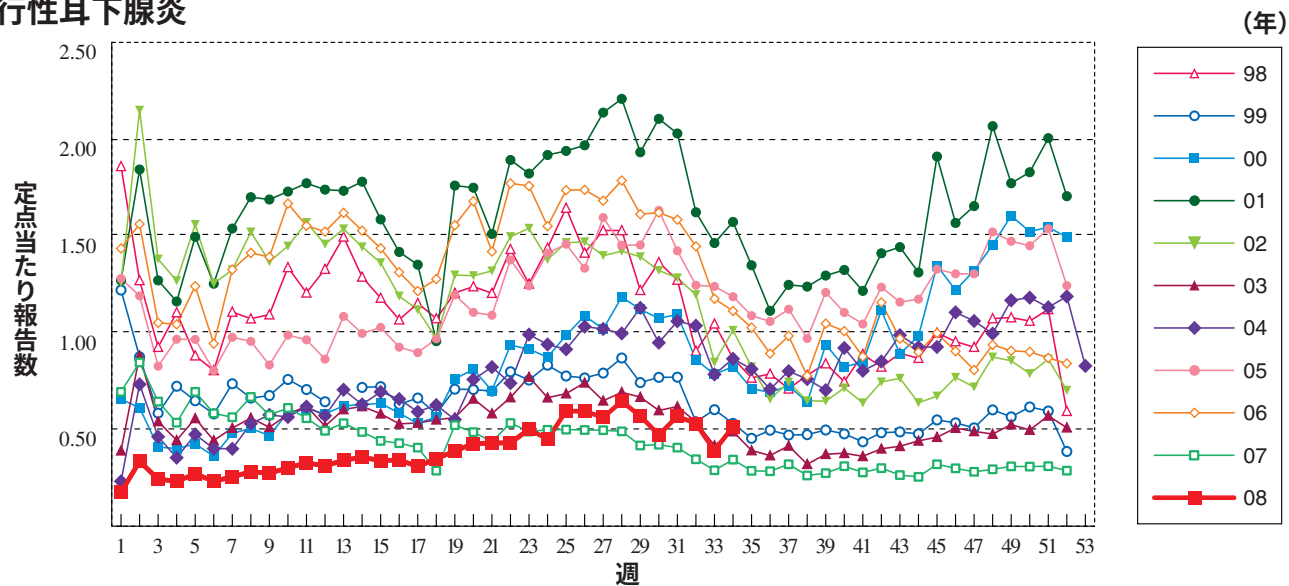
百日咳



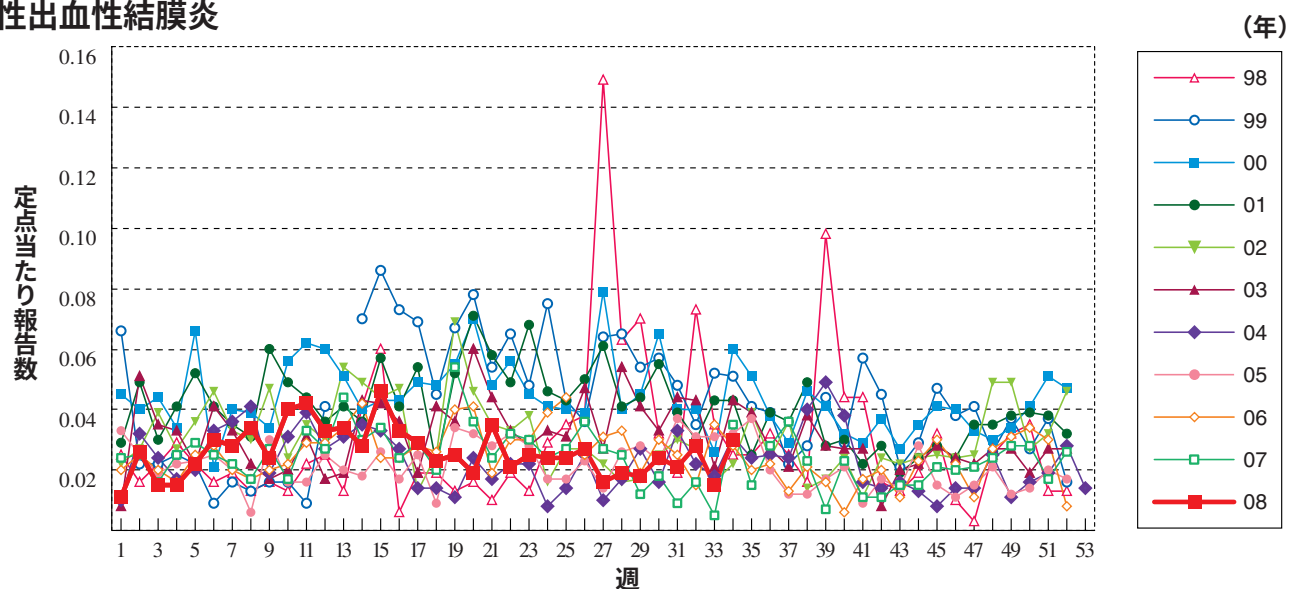
ヘルパンギーナ



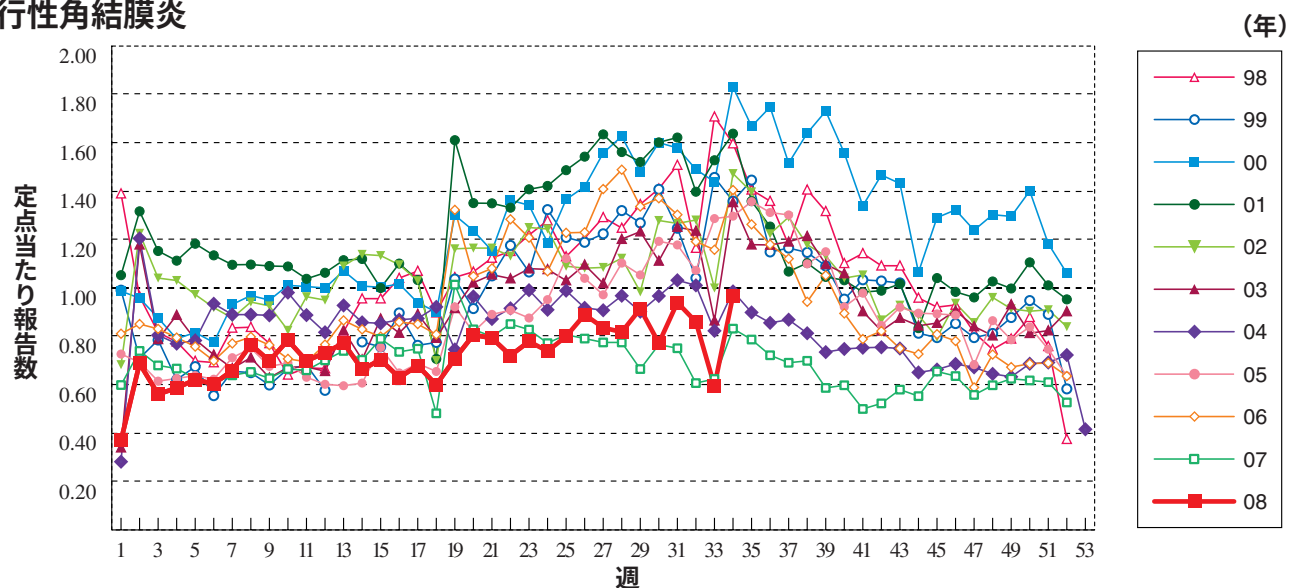
流行性耳下腺炎



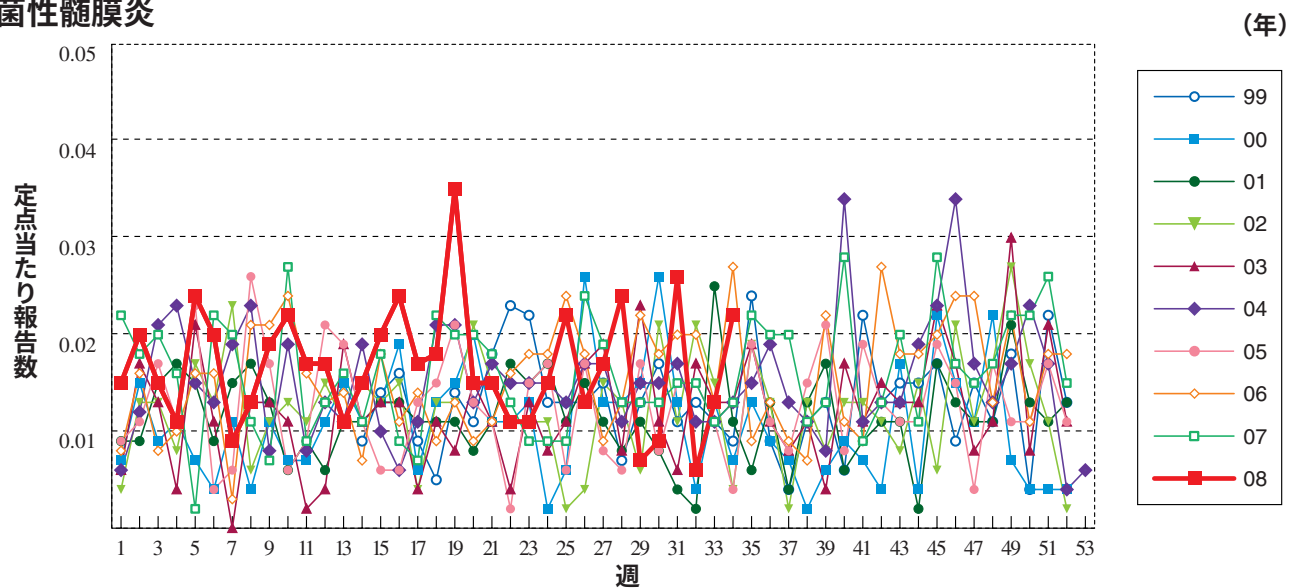
急性出血性結膜炎



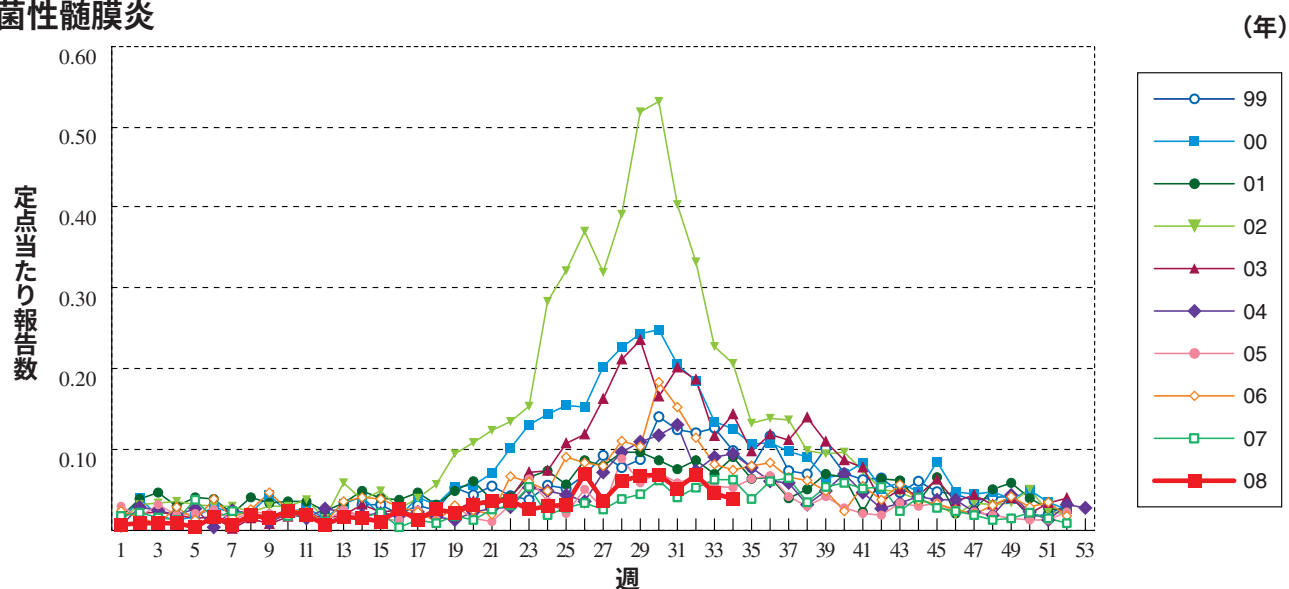
流行性角結膜炎



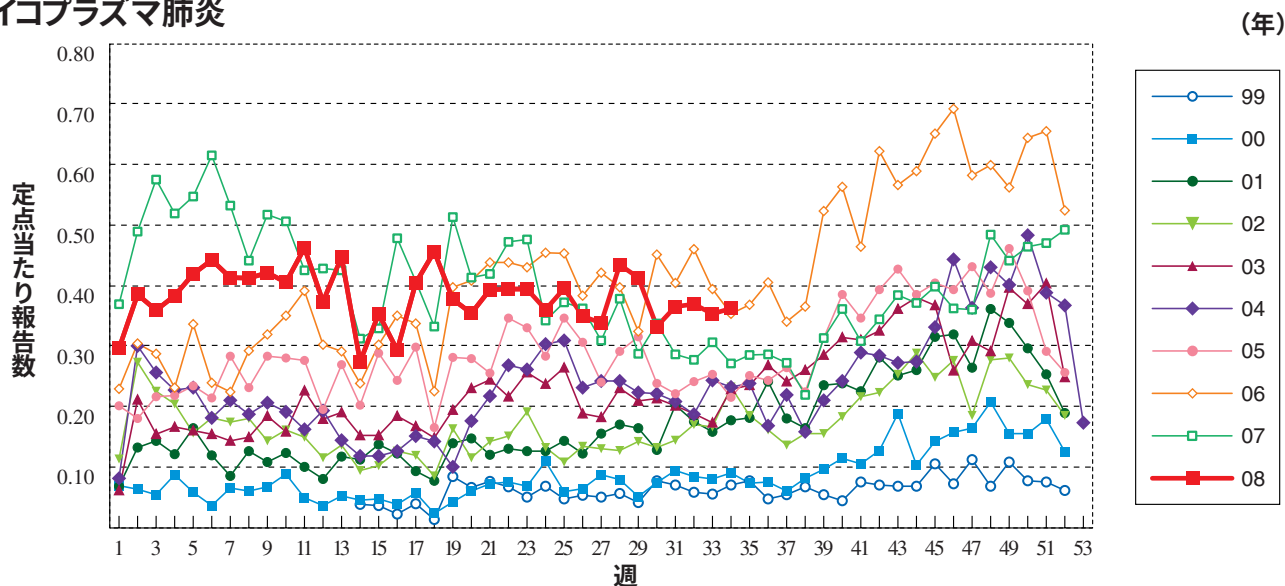
細菌性髄膜炎



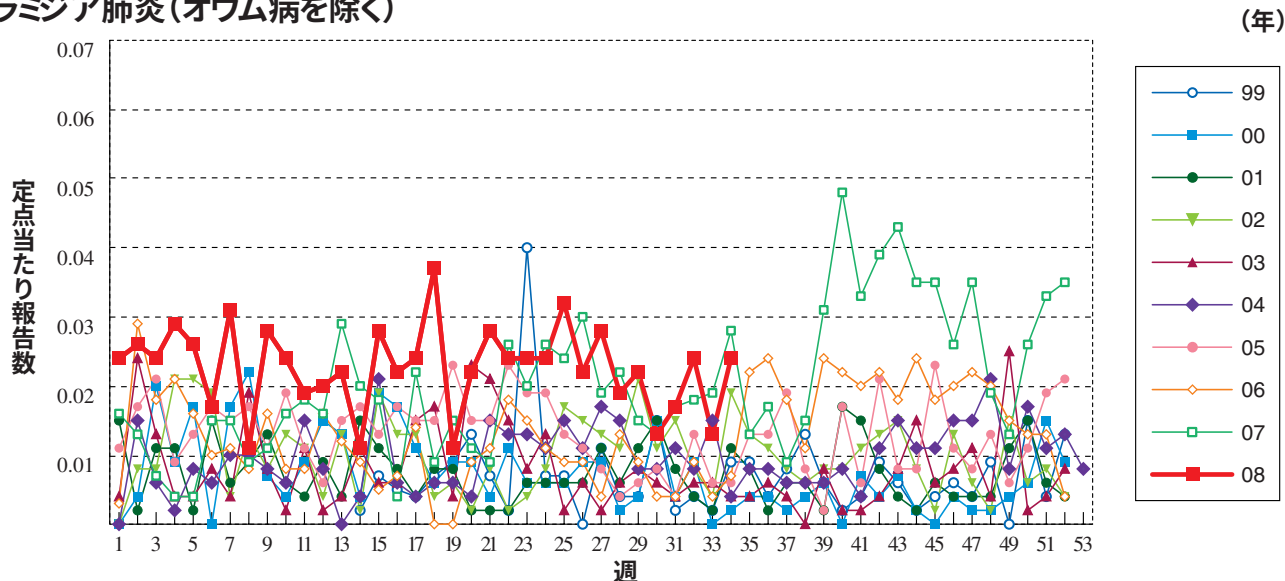
無菌性髄膜炎



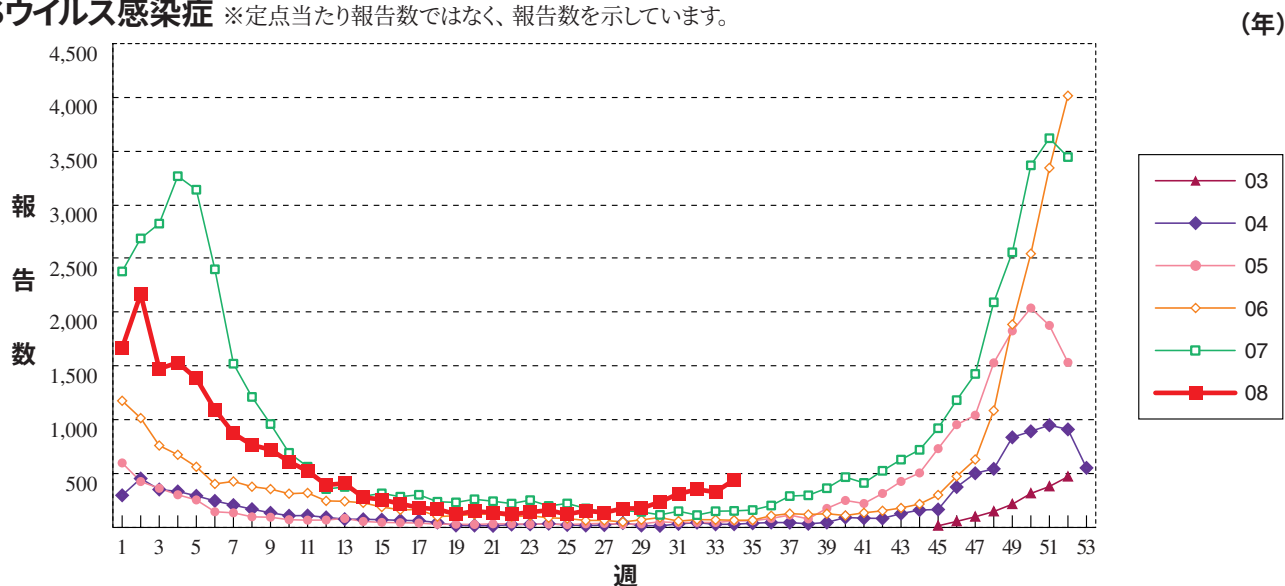
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





34週のデータ

注) 表中の報告数は8月27日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年34週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	304	17352	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	437	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	325	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	137	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	253	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	101	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	152	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	194	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	360	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	212	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	114	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	871	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	886	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	2738	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	867	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	229	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	127	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	115	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	92	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	180	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	294	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	452	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1283	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	263	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	180	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	388	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1262	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	609	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	243	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	197	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	93	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	198	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	397	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	196	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	137	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	134	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	171	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	798	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	109	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	268	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	224	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	210	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	185	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	259	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	187	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年34週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	34	14	199	190	2536	1	31	-	22	-	32
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	8	49	-	2	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	50	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	2	7	5	48	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	56	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	59	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	23	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	19	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	52	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	13	-	8	21	71	-	5	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	9	84	-	-	-	3	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	4	1	39	19	222	-	6	-	4	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	6	106	1	5	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	33	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	61	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	61	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	4	41	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	68	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	6	72	-	2	-	2	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	11	110	-	1	-	2	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	31	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	95	-	3	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	1	16	3	149	-	1	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	10	99	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	62	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	66	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	20	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	28	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	9	35	8	112	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	91	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	9	96	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	68	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	21	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	28	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	67	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	15	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	6	123	-	10	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	1	5	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	2	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121	3	48
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	17
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 痘		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	40	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	27	-	4	-	3	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年34週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	10	558	-	5	-	-	9	557	2	152	1	125	-	6	2	104
北海道	-	-	-	17	-	-	-	-	-	13	-	2	-	8	-	-	-	1
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	23	-	-	-	-	-	6	-	2	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	1	-	1
茨城県	-	-	1	13	-	-	-	-	1	7	-	2	-	7	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	1	2	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	6	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	17	-	3	-	4	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	20	-	2	-	6	-	1	-	3
東京都	-	-	3	50	-	-	-	-	-	121	-	22	-	6	-	2	-	11
神奈川県	-	-	-	28	-	1	-	-	-	53	-	5	-	6	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	23	-	-	-	-	-	5	1	1	-	3	-	-	1	2
富山県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	6	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
長野県	-	-	1	20	-	-	-	-	-	9	-	5	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	1	1
静岡県	-	-	-	23	-	-	-	-	-	12	-	-	-	2	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	35	-	-	-	-	1	36	-	8	-	7	-	-	-	5
三重県	-	-	-	10	-	-	-	-	1	6	-	4	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	6	-	3	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	18	-	-	-	-	-	16	-	4	-	1	-	-	-	2
大阪府	-	-	1	50	-	-	-	-	1	69	-	18	-	21	-	1	-	8
兵庫県	-	-	-	26	-	-	-	-	1	27	-	12	-	7	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	4	-	7	-	7	-	-	-	4
広島県	-	-	1	20	-	-	-	-	-	8	-	9	1	3	-	-	-	1
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	10	-	-	-	-	2	23	-	11	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	5	-	-	-	5	-	-	-	2
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	6	-	3	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	80	14	980	1	54	-	10	-	1	4	523	2	75	-	-	1	55
北海道	-	1	1	16	-	1	-	1	-	-	-	8	-	6	-	-	-	4
青森県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-
栃木県	-	2	1	13	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	27	-	2	-	1	-	-	-	19	-	3	-	-	-	6
千葉県	-	2	-	33	-	6	-	1	-	-	-	16	-	3	-	-	-	1
東京都	-	15	6	348	-	17	-	2	-	-	2	122	-	4	-	-	-	10
神奈川県	-	4	-	54	-	8	-	-	-	1	-	20	-	3	-	-	-	7
新潟県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-	-	29	-	3	-	-	-	5
愛知県	-	6	2	75	-	1	-	-	-	-	1	43	1	7	-	-	-	4
三重県	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	1	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
京都府	-	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	135	-	5	-	1	-	-	-	43	-	-	-	-	-	1
兵庫県	1	9	-	26	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	11	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	1	15	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
香川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
福岡県	1	3	-	29	1	2	-	-	-	-	-	56	-	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	21	-	1	-	-	1	2
大分県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	1	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年34週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	266	26	10677
北海道	-	11	1	1449
青森県	-	1	-	62
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	1	21
秋田県	-	1	-	157
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	21
茨城県	-	5	-	92
栃木県	-	5	-	35
群馬県	-	1	-	82
埼玉県	-	7	1	372
千葉県	-	9	4	1021
東京都	-	35	3	1132
神奈川県	1	31	6	3494
新潟県	-	-	-	34
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	2	22
長野県	-	13	-	57
岐阜県	-	1	-	18
静岡県	-	17	3	242
愛知県	-	3	1	190
三重県	-	5	-	41
滋賀県	-	2	-	37
京都府	-	1	-	193
大阪府	1	20	-	370
兵庫県	-	14	1	138
奈良県	-	2	-	12
和歌山県	-	2	-	36
鳥取県	-	-	-	6
島根県	-	4	-	4
岡山県	-	13	-	129
広島県	-	12	-	147
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	2	30
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	21	1	665
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	-	90
宮崎県	-	1	-	9
鹿児島県	-	2	-	23
沖縄県	-	1	-	31

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	34	0.01	1889	0.63	2094	0.70	8648	2.90	1725	0.58	4204	1.41	211	0.07	2344	0.79	92	0.03
北海道	-	-	46	0.32	104	0.73	164	1.15	75	0.53	178	1.25	11	0.08	79	0.56	2	0.01
青森県	-	-	15	0.36	18	0.43	59	1.40	24	0.57	38	0.90	1	0.02	26	0.62	-	-
岩手県	-	-	4	0.10	15	0.38	75	1.88	22	0.55	14	0.35	5	0.13	20	0.50	-	-
宮城県	-	-	7	0.12	26	0.43	196	3.27	26	0.43	63	1.05	3	0.05	56	0.93	2	0.03
秋田県	-	-	23	0.66	20	0.57	82	2.34	15	0.43	12	0.34	1	0.03	10	0.29	-	-
山形県	-	-	12	0.40	27	0.90	76	2.53	31	1.03	7	0.23	2	0.07	25	0.83	1	0.03
福島県	1	0.01	16	0.33	40	0.83	73	1.52	17	0.35	44	0.92	6	0.13	43	0.90	2	0.04
茨城県	2	0.02	28	0.37	76	1.01	123	1.64	24	0.32	44	0.59	8	0.11	50	0.67	1	0.01
栃木県	-	-	10	0.21	45	0.94	79	1.65	17	0.35	15	0.31	1	0.02	35	0.73	-	-
群馬県	-	-	78	1.26	37	0.60	203	3.27	33	0.53	89	1.44	2	0.03	51	0.82	1	0.02
埼玉県	-	-	102	0.67	137	0.90	446	2.93	88	0.58	121	0.80	18	0.12	96	0.63	6	0.04
千葉県	1	0.01	32	0.27	111	0.94	291	2.47	84	0.71	95	0.81	11	0.09	87	0.74	10	0.08
東京都	2	0.01	76	0.54	83	0.58	424	2.99	32	0.23	115	0.81	12	0.08	94	0.66	4	0.03
神奈川県	-	-	75	0.40	89	0.47	443	2.34	89	0.47	390	2.06	15	0.08	170	0.90	2	0.01
新潟県	-	-	67	1.12	68	1.13	94	1.57	68	1.13	411	6.85	13	0.22	64	1.07	5	0.08
富山県	-	-	15	0.52	23	0.79	109	3.76	26	0.90	93	3.21	-	-	17	0.59	-	-
石川県	-	-	12	0.41	30	1.03	99	3.41	5	0.17	128	4.41	-	-	26	0.90	-	-
福井県	3	0.09	8	0.36	43	1.95	129	5.86	18	0.82	35	1.59	-	-	25	1.14	-	-
山梨県	-	-	-	-	6	0.26	44	1.91	8	0.35	11	0.48	-	-	5	0.22	-	-
長野県	-	-	20	0.36	43	0.78	128	2.33	28	0.51	143	2.60	5	0.09	38	0.69	1	0.02
岐阜県	2	0.02	28	0.53	19	0.36	78	1.47	23	0.43	50	0.94	-	-	51	0.96	2	0.04
静岡県	-	-	76	0.88	87	1.01	312	3.63	49	0.57	220	2.56	2	0.02	67	0.78	2	0.02
愛知県	1	0.01	73	0.40	142	0.78	558	3.08	132	0.73	216	1.19	9	0.05	138	0.76	2	0.01
三重県	-	-	33	0.73	30	0.67	204	4.53	27	0.60	109	2.42	3	0.07	44	0.98	4	0.09
滋賀県	-	-	12	0.38	10	0.31	98	3.06	13	0.41	28	0.88	2	0.06	14	0.44	1	0.03
京都府	-	-	42	0.61	22	0.32	188	2.72	22	0.32	58	0.84	-	-	43	0.62	-	-
大阪府	1	0.00	139	0.75	179	0.97	625	3.38	117	0.63	138	0.75	9	0.05	137	0.74	7	0.04
兵庫県	-	-	81	0.63	62	0.48	333	2.58	84	0.65	171	1.33	13	0.10	98	0.76	6	0.05
奈良県	-	-	37	1.06	8	0.23	67	1.91	14	0.40	38	1.09	1	0.03	16	0.46	-	-
和歌山県	-	-	18	0.58	10	0.32	58	1.87	14	0.45	17	0.55	3	0.10	24	0.77	1	0.03
鳥取県	-	-	15	0.79	29	1.53	61	3.21	4	0.21	12	0.63	5	0.26	15	0.79	1	0.05
島根県	1	0.03	12	0.52	13	0.57	104	4.52	14	0.61	19	0.83	6	0.26	22	0.96	-	-
岡山県	-	-	17	0.31	20	0.37	218	4.04	16	0.30	112	2.07	2	0.04	35	0.65	5	0.09
広島県	1	0.01	41	0.58	32	0.45	212	2.99	53	0.75	89	1.25	7	0.10	59	0.83	5	0.07
山口県	-	-	27	0.54	37	0.74	164	3.28	40	0.80	76	1.52	4	0.08	51	1.02	-	-
徳島県	-	-	25	1.09	7	0.30	53	2.30	13	0.57	21	0.91	-	-	13	0.57	-	-
香川県	-	-	23	0.82	7	0.25	100	3.57	10	0.36	33	1.18	-	-	21	0.75	2	0.07
愛媛県	-	-	79	2.14	14	0.38	143	3.86	34	0.92	57	1.54	1	0.03	68	1.84	2	0.05
高知県	-	-	16	0.53	3	0.10	90	3.00	12	0.40	14	0.47	1	0.03	19	0.63	1	0.03
福岡県	1	0.01	113	0.94	110	0.92	493	4.11	94	0.78	198	1.65	4	0.03	118	0.98	5	0.04
佐賀県	-	-	42	1.83	11	0.48	27	1.17	14	0.61	43	1.87	-	-	35	1.52	-	-
長崎県	-	-	31	0.70	13	0.30	97	2.20	29	0.66	50	1.14	-	-	32	0.73	-	-
熊本県	-	-	13	0.27	23	0.48	200	4.17	43	0.90	173	3.60	-	-	47	0.98	1	0.02
大分県	-	-	58	1.61	67	1.86	301	8.36	41	1.14	56	1.56	8	0.22	52	1.44	-	-
宮崎県	-	-	72	2.00	44	1.22	257	7.14	19	0.53	54	1.50	3	0.08	48	1.33	6	0.17
鹿児島県	-	-	105	1.91	45	0.82	236	4.29	47	0.85	65	1.18	7	0.13	39	0.71	2	0.04
沖縄県	18	0.31	15	0.44	9	0.26	34	1.00	17	0.50	41	1.21	7	0.21	21	0.62	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年34週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	3581	1.20	1535	0.52	20	0.03	653	0.97	10	0.02	18	0.04	166	0.36	11	0.02	443
北海道	213	1.50	23	0.16	-	-	12	0.41	-	-	-	-	5	0.22	-	-	11
青森県	105	2.50	8	0.19	-	-	5	0.45	-	-	-	-	9	1.50	-	-	2
岩手県	72	1.80	7	0.18	1	0.07	16	1.14	-	-	-	-	5	0.25	1	0.05	-
宮城県	145	2.42	11	0.18	1	0.08	2	0.17	-	-	-	-	16	1.33	-	-	3
秋田県	80	2.29	27	0.77	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	123	4.10	25	0.83	-	-	4	0.50	-	-	-	-	6	0.60	1	0.10	-
福島県	114	2.38	11	0.23	-	-	7	0.58	-	-	1	0.14	8	1.14	2	0.29	12
茨城県	88	1.17	5	0.07	1	0.06	51	3.00	-	-	-	-	1	0.08	-	-	-
栃木県	27	0.56	15	0.31	-	-	10	0.83	-	-	-	-	7	1.00	1	0.14	-
群馬県	47	0.76	83	1.34	-	-	33	2.36	-	-	1	0.13	4	0.50	-	-	-
埼玉県	167	1.10	80	0.53	3	0.07	17	0.40	-	-	-	-	5	0.56	-	-	2
千葉県	112	0.95	39	0.33	4	0.13	25	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	193	1.36	90	0.63	1	0.03	13	0.36	2	0.10	-	-	7	0.33	-	-	23
神奈川県	340	1.80	57	0.30	2	0.05	52	1.30	1	0.13	1	0.13	1	0.13	-	-	-
新潟県	157	2.62	12	0.20	-	-	4	0.40	-	-	-	-	3	0.25	3	0.25	13
富山県	34	1.17	3	0.10	-	-	7	1.00	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-
石川県	13	0.45	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.60	-	-	7
福井県	27	1.23	31	1.41	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2
山梨県	22	0.96	4	0.17	-	-	3	0.33	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-
長野県	144	2.62	22	0.40	-	-	5	0.45	-	-	-	-	1	0.09	-	-	4
岐阜県	47	0.89	66	1.25	-	-	7	0.64	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	3
静岡県	85	0.99	49	0.57	-	-	20	1.00	-	-	1	0.11	3	0.33	-	-	6
愛知県	126	0.70	135	0.75	-	-	16	0.48	1	0.07	-	-	3	0.20	1	0.07	7
三重県	56	1.24	17	0.38	1	0.08	7	0.58	-	-	2	0.22	2	0.22	-	-	1
滋賀県	33	1.03	28	0.88	-	-	4	0.50	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	-
京都府	42	0.61	22	0.32	-	-	22	1.22	1	0.14	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	177	0.96	102	0.55	2	0.04	25	0.48	1	0.07	1	0.07	5	0.36	-	-	69
兵庫県	123	0.95	43	0.33	-	-	48	1.37	-	-	-	-	1	0.10	-	-	9
奈良県	19	0.54	20	0.57	-	-	5	0.56	1	0.17	3	0.50	-	-	-	-	1
和歌山県	46	1.48	6	0.19	1	0.25	7	1.75	-	-	-	-	3	0.27	-	-	13
鳥取県	17	0.89	1	0.05	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-
島根県	26	1.13	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.13	4	0.50	-	-	1
岡山県	12	0.22	28	0.52	-	-	6	0.50	1	0.20	2	0.40	10	2.00	-	-	1
広島県	53	0.75	11	0.15	-	-	21	1.11	1	0.05	-	-	6	0.29	-	-	10
山口県	48	0.96	10	0.20	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.22	-	-	24
徳島県	21	0.91	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
香川県	23	0.82	4	0.14	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	45	1.22	30	0.81	-	-	32	4.00	-	-	-	-	4	0.67	-	-	1
高知県	17	0.57	39	1.30	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-
福岡県	120	1.00	130	1.08	3	0.12	17	0.65	1	0.07	-	-	1	0.07	-	-	158
佐賀県	19	0.83	71	3.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.33	-	-	1
長崎県	21	0.48	23	0.52	-	-	5	0.63	-	-	-	-	1	0.08	-	-	3
熊本県	55	1.15	25	0.52	-	-	34	3.78	-	-	1	0.07	-	-	-	-	4
大分県	39	1.08	5	0.14	-	-	7	1.40	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	5
宮崎県	69	1.92	93	2.58	-	-	17	2.83	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33	-
鹿児島県	8	0.15	16	0.29	-	-	43	6.14	-	-	-	-	1	0.08	-	-	5
沖縄県	11	0.32	4	0.12	-	-	22	2.20	-	-	-	-	20	2.86	-	-	18

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年34週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	24	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年34週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第34号 2008年9月5日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。